

みやこ町  
福祉に関するアンケート調査  
結果報告書

令和5年11月  
みやこ町

## 目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1 回答者の性別・年齢・ご家族などについて.....	3
2 障がいの状況について.....	12
3 住まいや暮らしについて.....	22
4 日中活動や就労について.....	26
5 障がい福祉サービスなどの利用について.....	36
6 生活上の困りごとや相談相手について.....	44
7 権利擁護について.....	45
8 災害時の避難等について.....	49
III 子どもの福祉に関するアンケート調査結果.....	51
1 お子さんのことについて.....	51
2 お子さんの発達などの気づきについて.....	52
3 相談状況について.....	53
4 通園・通学などについて.....	54
5 障がい福祉サービスの利用について.....	56
6 地域生活・就労について.....	58
7 ご家族への支援について.....	60
8 生活環境について.....	61

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、福祉サービスの利用実態や福祉に関する意向を把握し、「第3期障がい者計画」や「第7期障がい福祉計画及び第3期障がい児福祉計画」策定の参考とさせていただくことを目的として実施しました。

## 2 調査概要

項目	
調査対象者	町内在住の障害者手帳所持者・障がい福祉サービス利用者
調査期間	令和5年9月4日（月）～9月20日（水）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式
配布数	1,323件
有効回収数	556件
有効回収率	42.0%

## 3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**、に網掛けをしています。
- ◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。

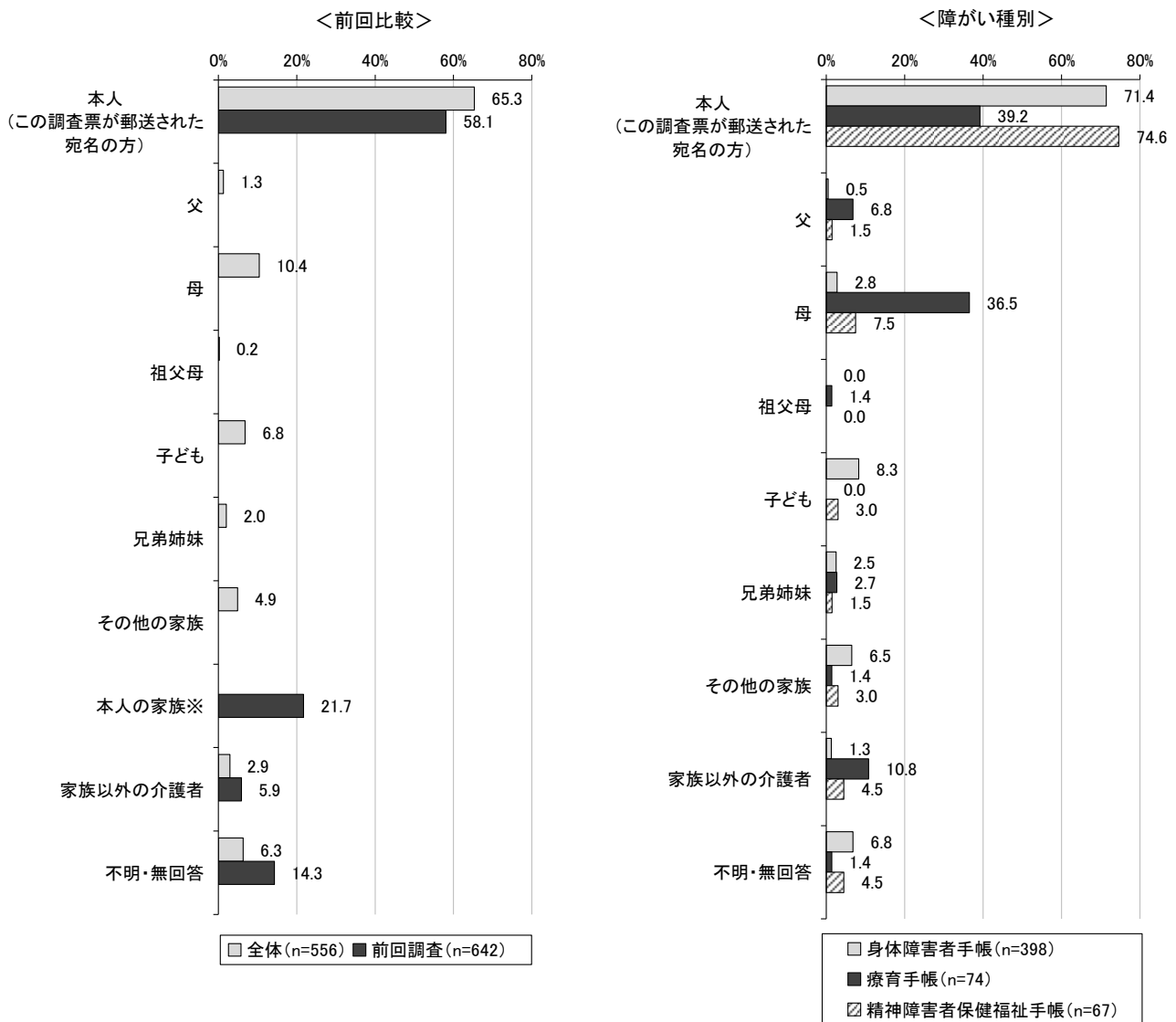
## Ⅱ アンケート調査結果

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

回答者についてみると、「本人」が65.3%と最も高く、次いで「母」が10.4%、「子ども」が6.8%となっています。

前回と比較すると、「本人」が7.2ポイント増加しています。

障がい種別にみると、すべての種別で「本人」が最も高くなっています。



※前回調査のみ：「本人の家族」

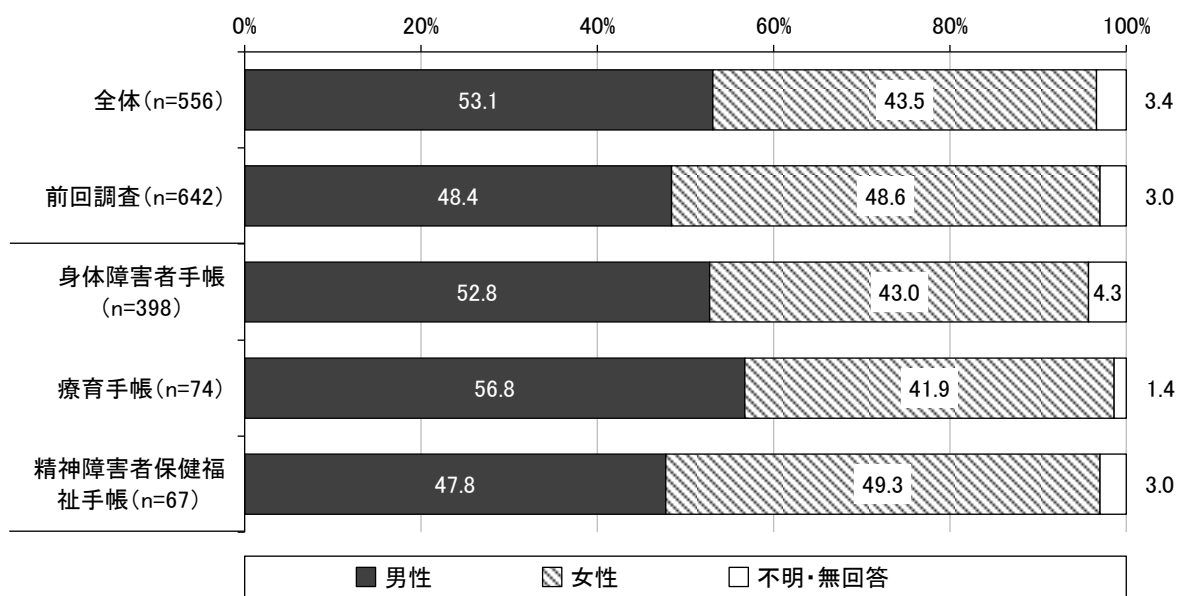
今回調査のみ：「父」「母」「祖父母」「子ども」「兄弟姉妹」「その他の家族」

# 1 回答者の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの性別と年齢をお答えください。(○は1つだけ、年齢は数字を記入)  
 ※令和5年4月2日現在

## 性別

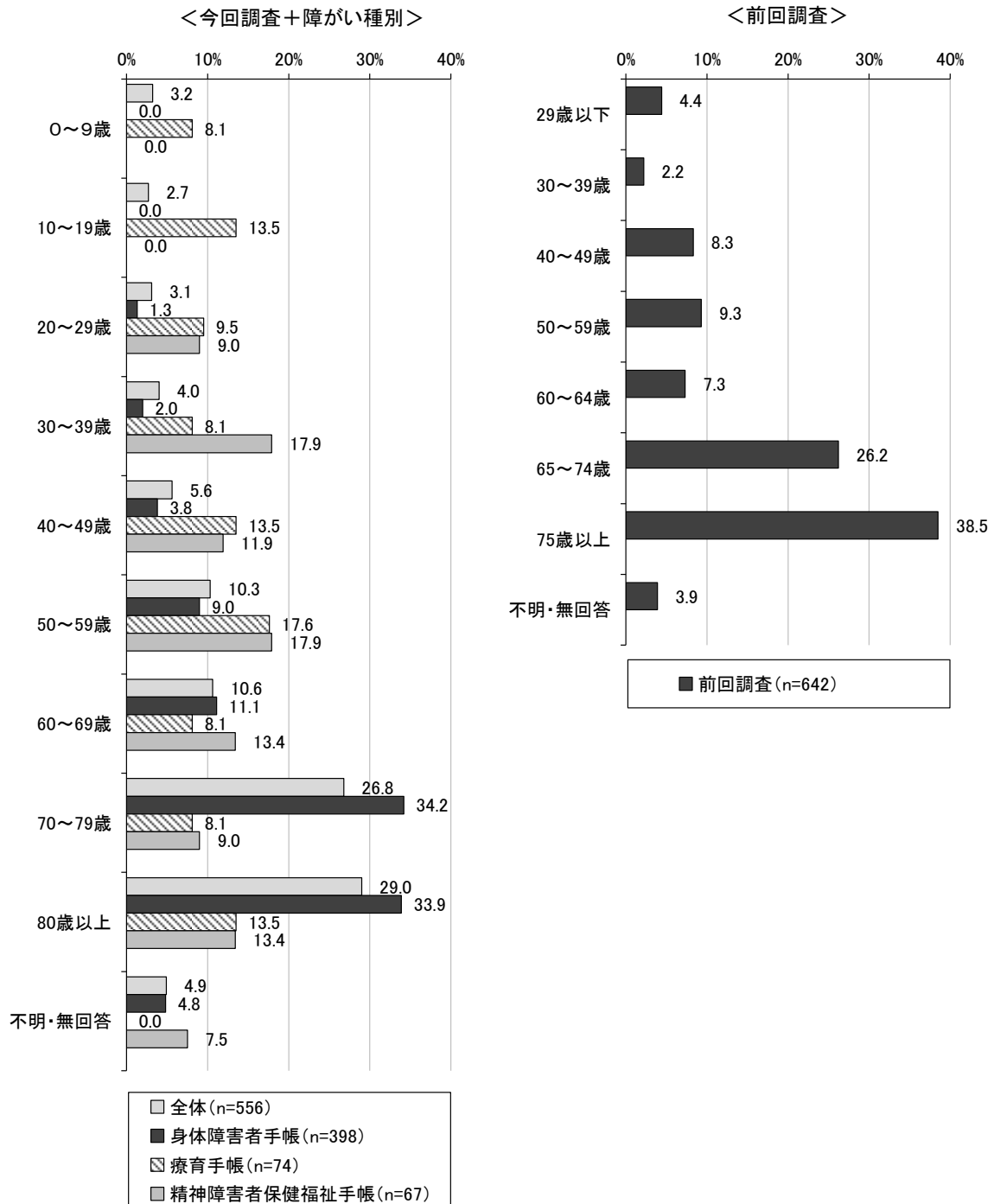
性別についてみると、「男性」が53.1%、「女性」が43.5%となっています。  
 前回と比較すると、大きな差はみられません。  
 障がい種別にみると、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「女性」、その他の種別では「男性」が上回っています。



## 年齢

年齢についてみると、「80歳以上」が29.0%と最も高く、次いで「70～79歳」が26.8%、「60～69歳」が10.6%となっています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「70～79歳」、「療育手帳」では「50～59歳」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「30～39歳」「50～59歳」が最も高くなっています。

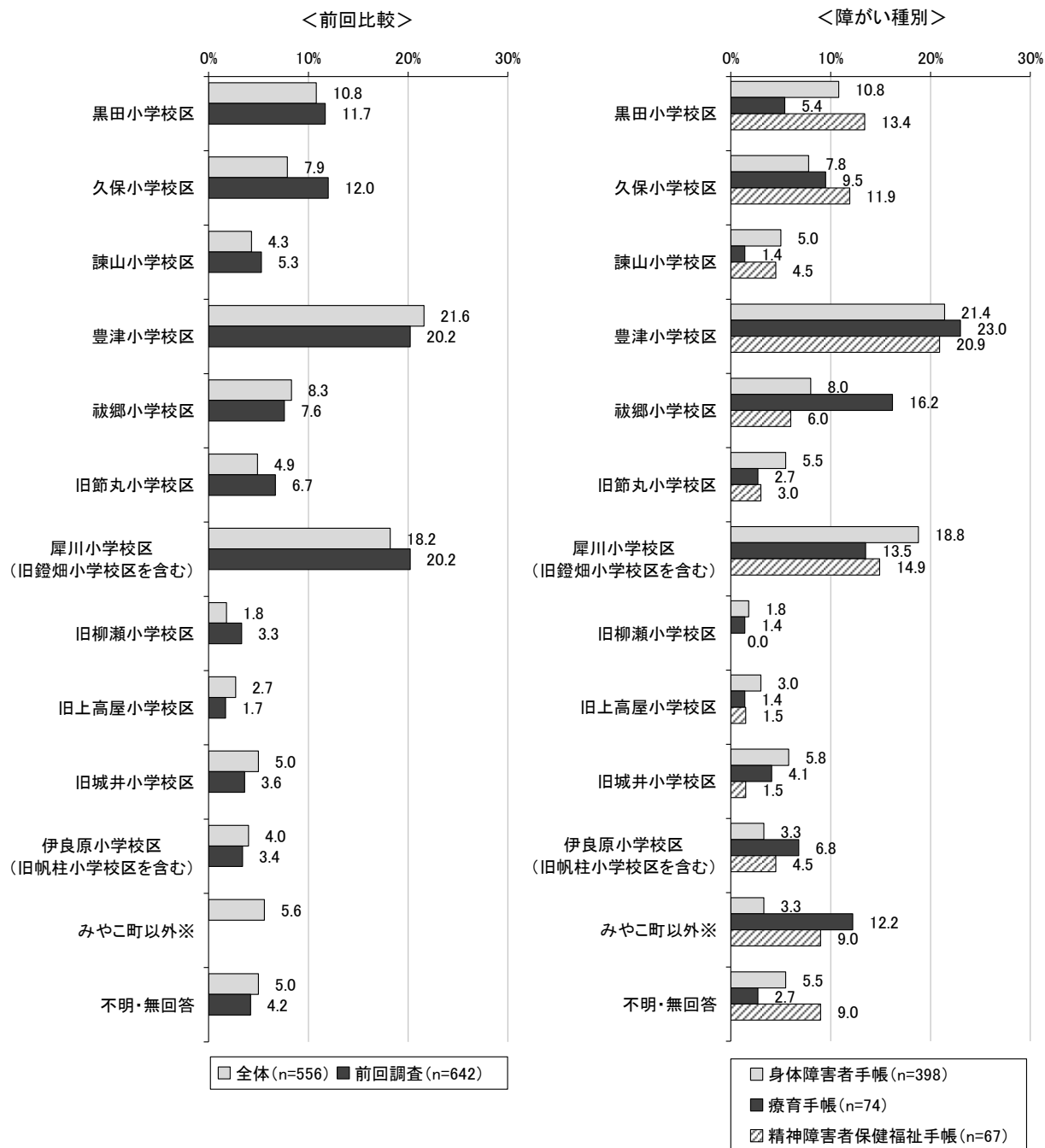


問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つだけ)

お住まいの地域についてみると、「豊津小学校区」が21.6%と最も高く、次いで「犀川小学校区」が18.2%、「黒田小学校区」が10.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、すべての種別で「豊津小学校区」が最も高くなっています。



※前回調査のみ：「みやこ町以外」

問4 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

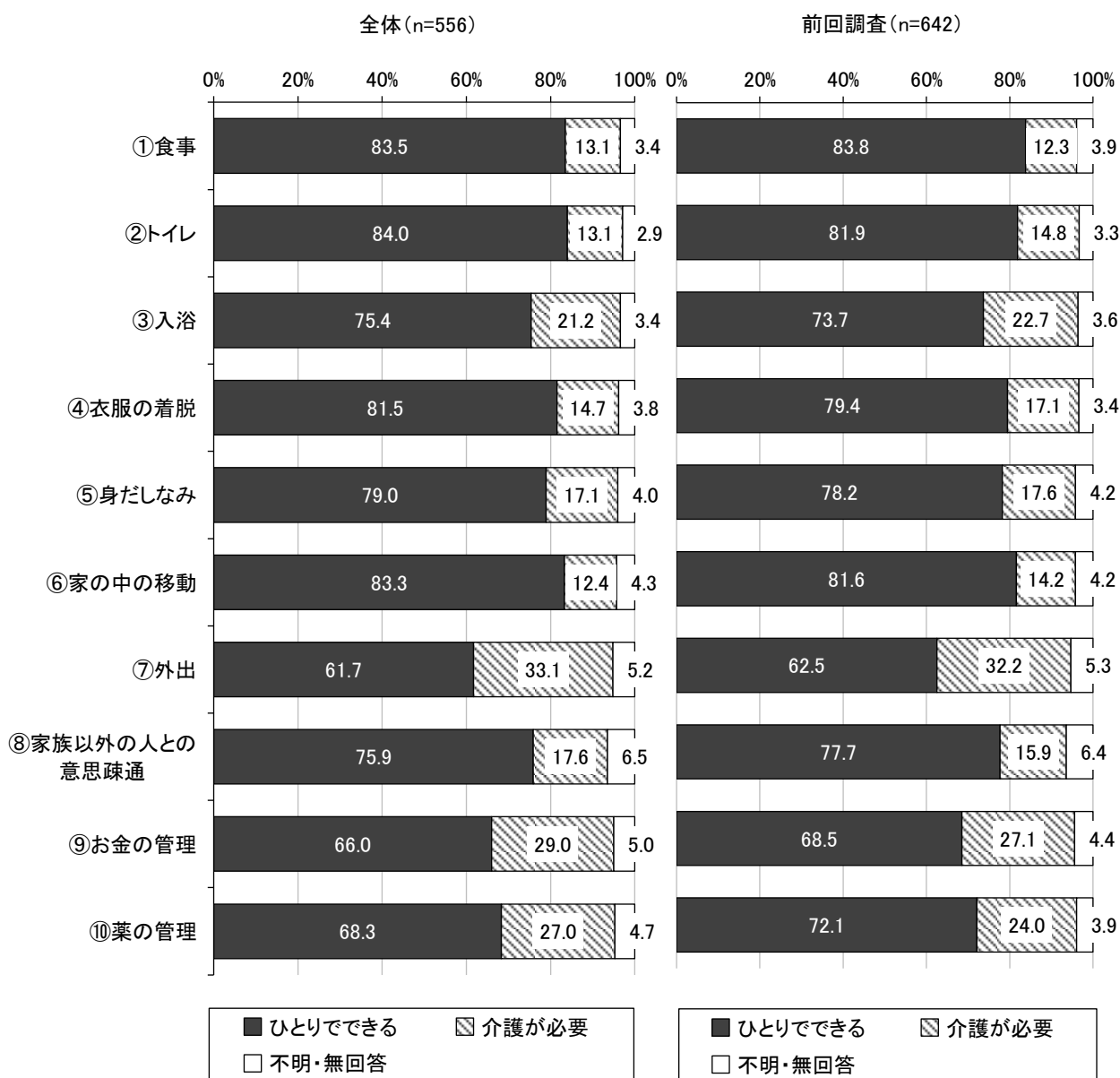
(①～⑩それぞれに○は1つだけ)

日常生活についてみると、すべての項目で【ひとりでできる】が【介護が必要】を上回っています。

前回と比較すると、すべての項目で大きな差はみられません。

【介護が必要】では「⑦外出」が 33.1%、「⑨お金の管理」が 29.0%、「⑩薬の管理」が 27.0%となっています。

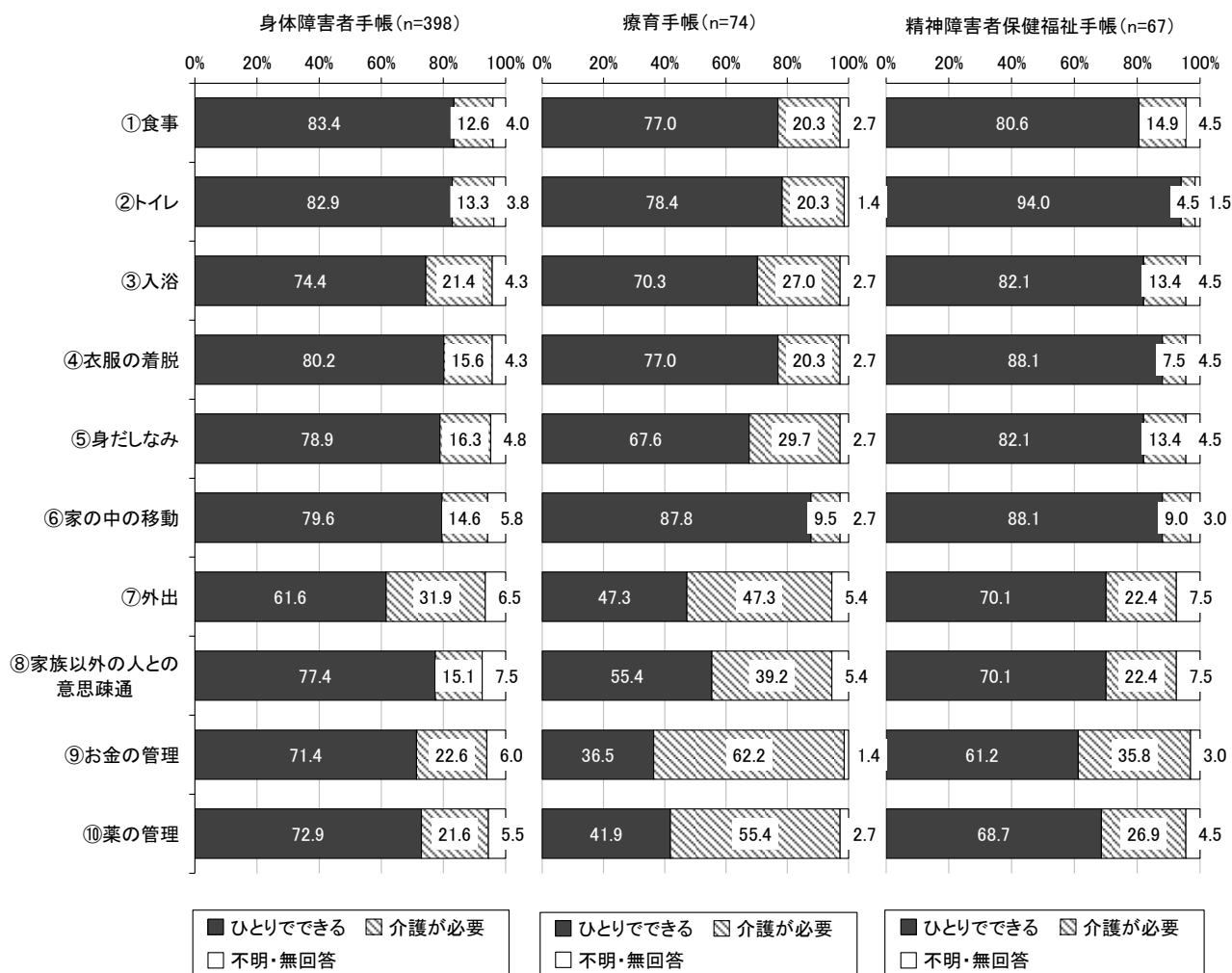
<前回比較>





障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「⑨お金の管理」「⑩薬の管理」の【介護が必要】が【ひとりできる】を上回っており、その他の種別ではすべての項目で【ひとりできる】が【介護が必要】を上回っています。

〈障がい種別〉



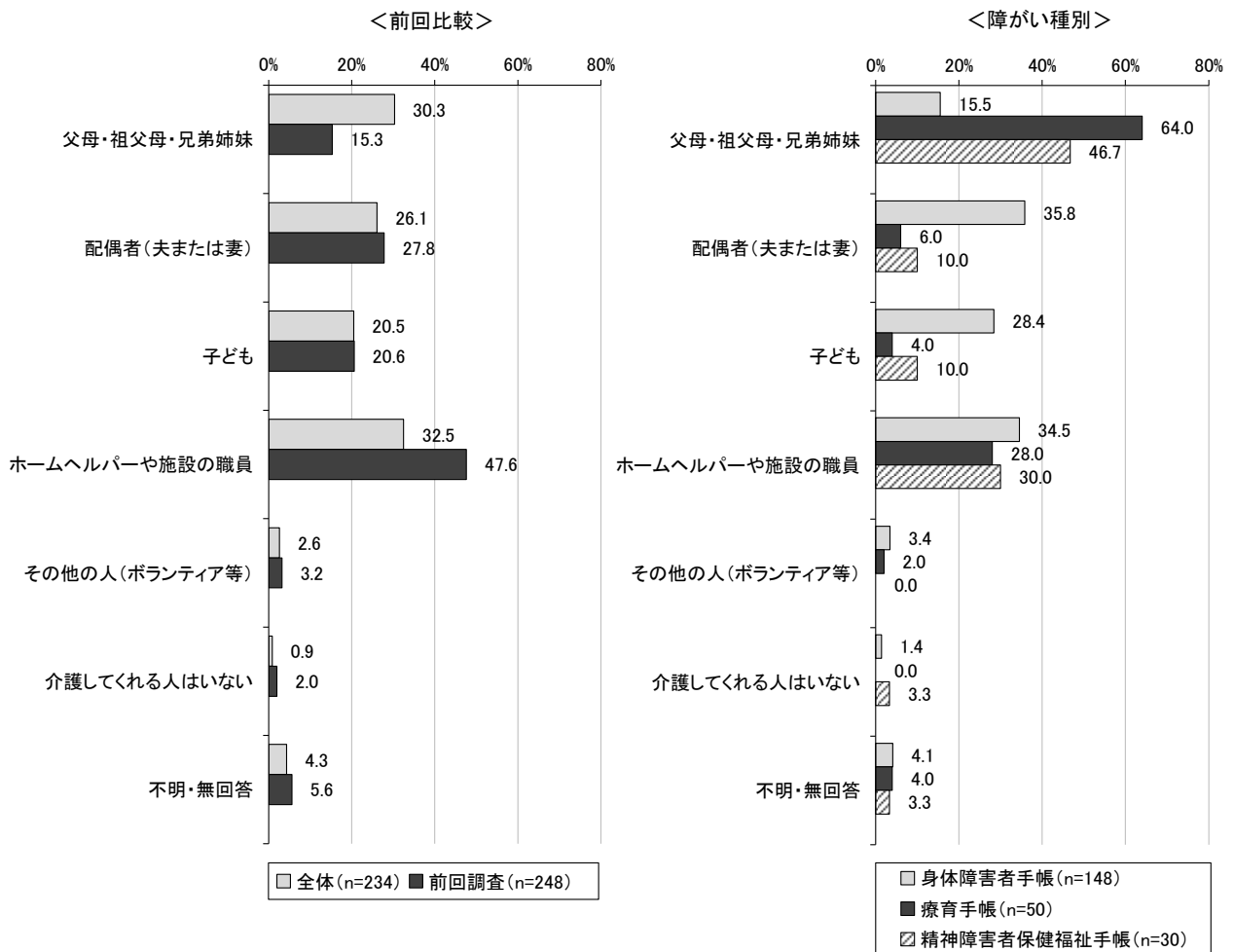
問4の①～⑩のいずれかで「介護が必要」を選択された方のみ

問5 あなたを介護してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

主に介護してくれる方についてみると、「ホームヘルパーや施設の職員」が32.5%と最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が30.3%、「配偶者(夫または妻)」が26.1%となっています。

前回と比較すると、「ホームヘルパーや施設の職員」が15.1ポイント減少しており、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が15.0ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「配偶者(夫または妻)」,その他の種別では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が最も高くなっています。

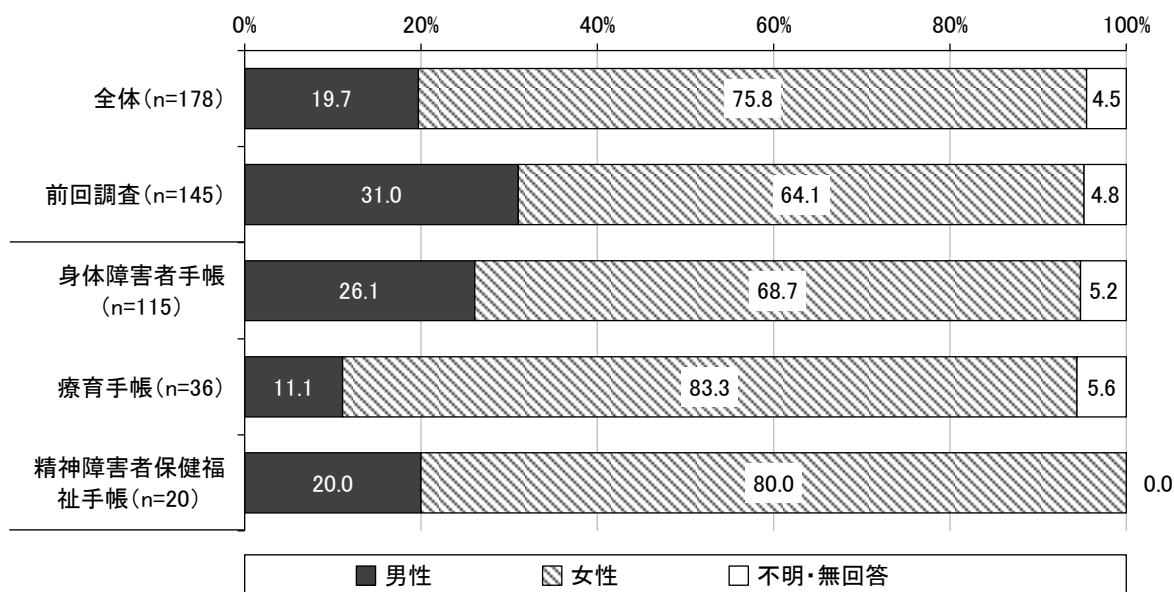


問5で「父母・祖父母・兄弟姉妹」～「子ども」を選択された方のみ

問6 あなたを介護してくれる家族で、特に中心となっている方の性別と年齢、健康状態をお答えください。

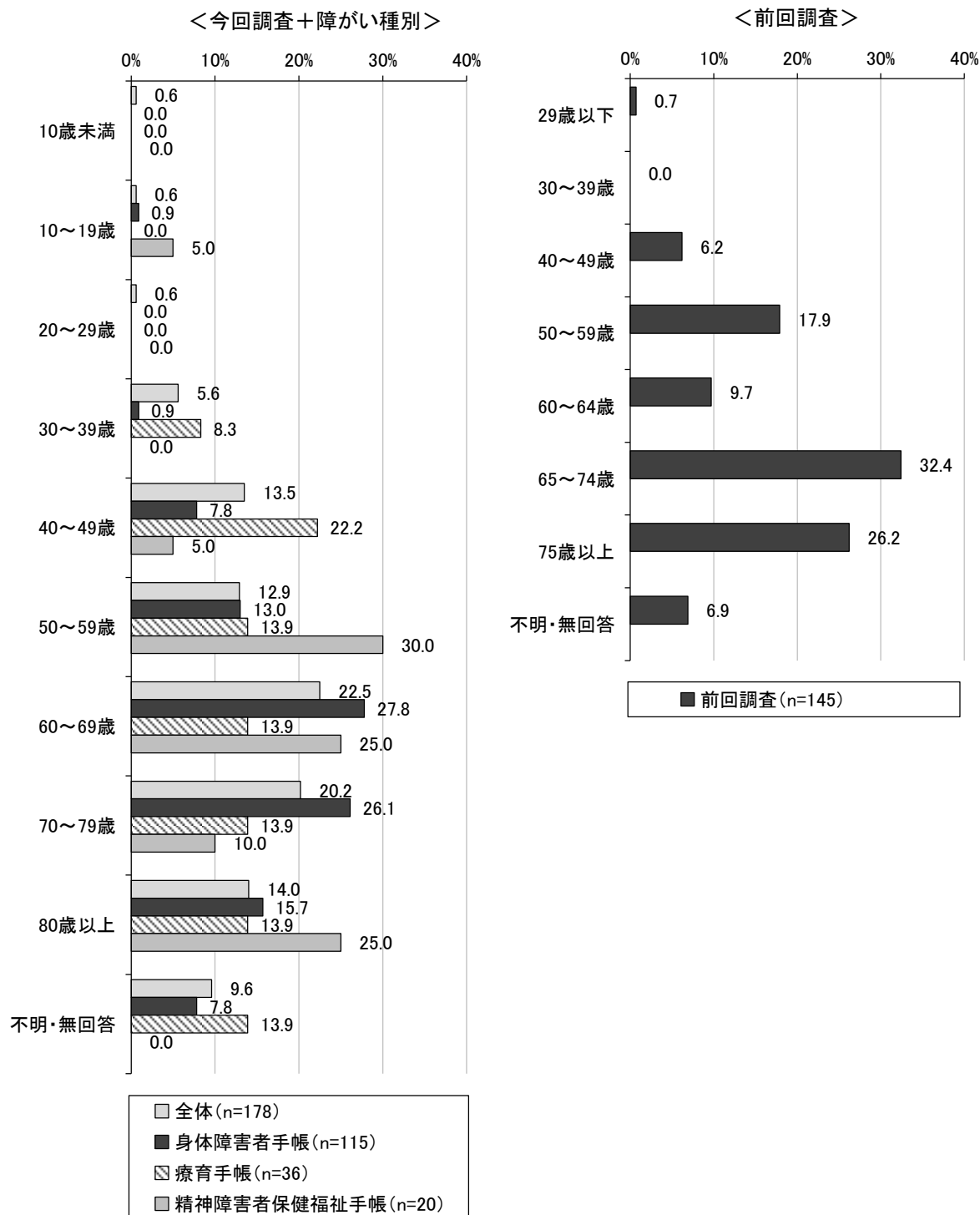
①性別と年齢（令和5年4月2日現在）

家族の介護者の性別についてみると、「男性」が19.7%、「女性」が75.8%となっています。  
前回と比較すると、「男性」が11.3ポイント減少しており、「女性」が11.7ポイント増加しています。  
障がい種別にみると、すべての種別で「女性」が上回っています。



家族の介護者の年齢についてみると、「60～69 歳」が 22.5%と最も高く、次いで「70～79 歳」が 20.2%、「80 歳以上」が 14.0%となっています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「60～69 歳」、〔療育手帳〕では「40～49 歳」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「50～59 歳」が最も高くなっています。

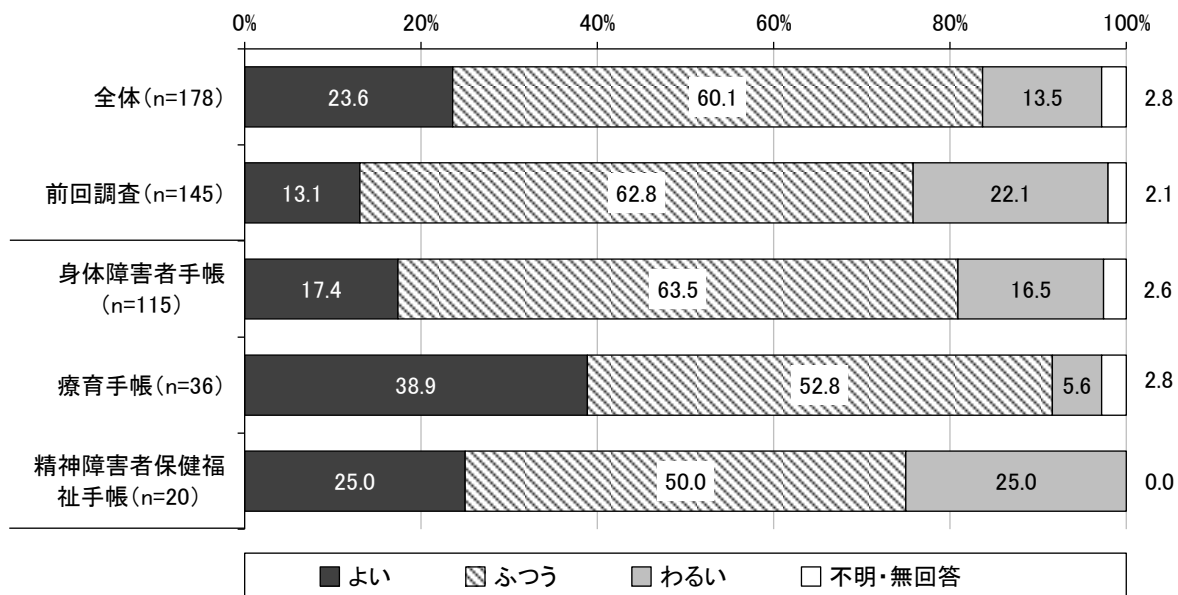


②健康状態（〇は1つだけ）

家族の介護者の健康状態についてみると、「ふつう」が 60.1%と最も高く、次いで「よい」が 23.6%、「わるい」が 13.5%となっています。

前回と比較すると、「よい」が 10.5 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、すべての種別で「ふつう」が最も高くなっています。



## 2 障がいの状況について

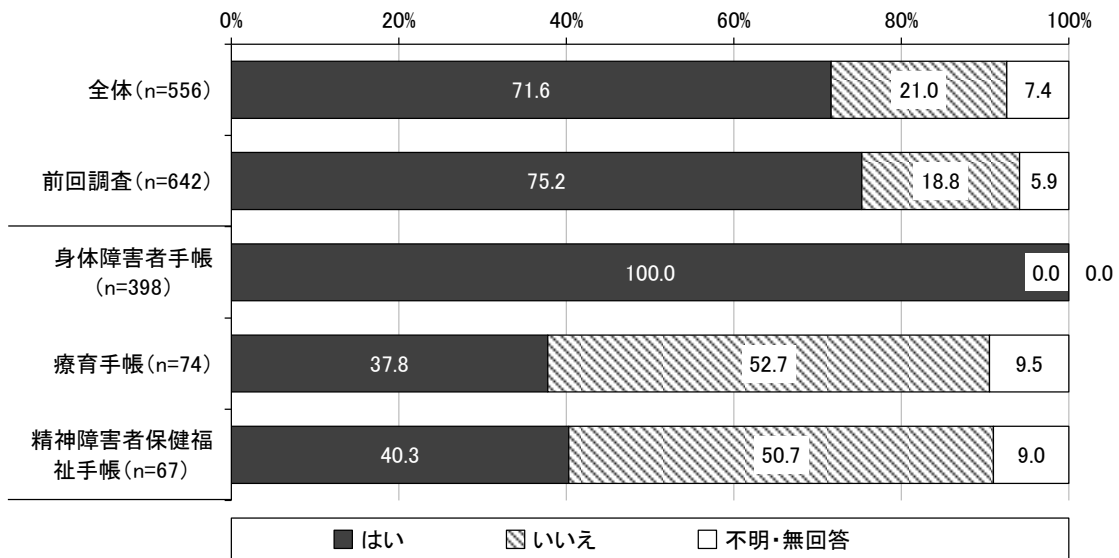
問7 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ) お持ちの場合は身体障害者手帳の等級を1つだけお選びください。

### 手帳所持の有無

身体障害者手帳の所持についてみると、「はい」が71.6%、「いいえ」が21.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「はい」、その他の種別では「いいえ」が上回っています。

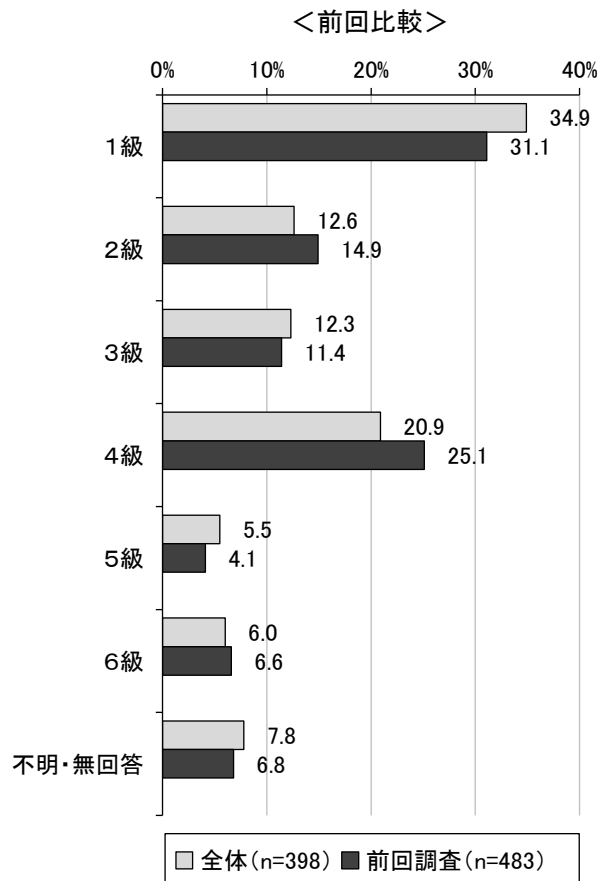


## 身体障害者手帳をお持ちの方のみ

### 身体障害者手帳の等級

等級についてみると、「1級」が 34.9%と最も高く、次いで「4級」が 20.9%、「2級」が 12.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

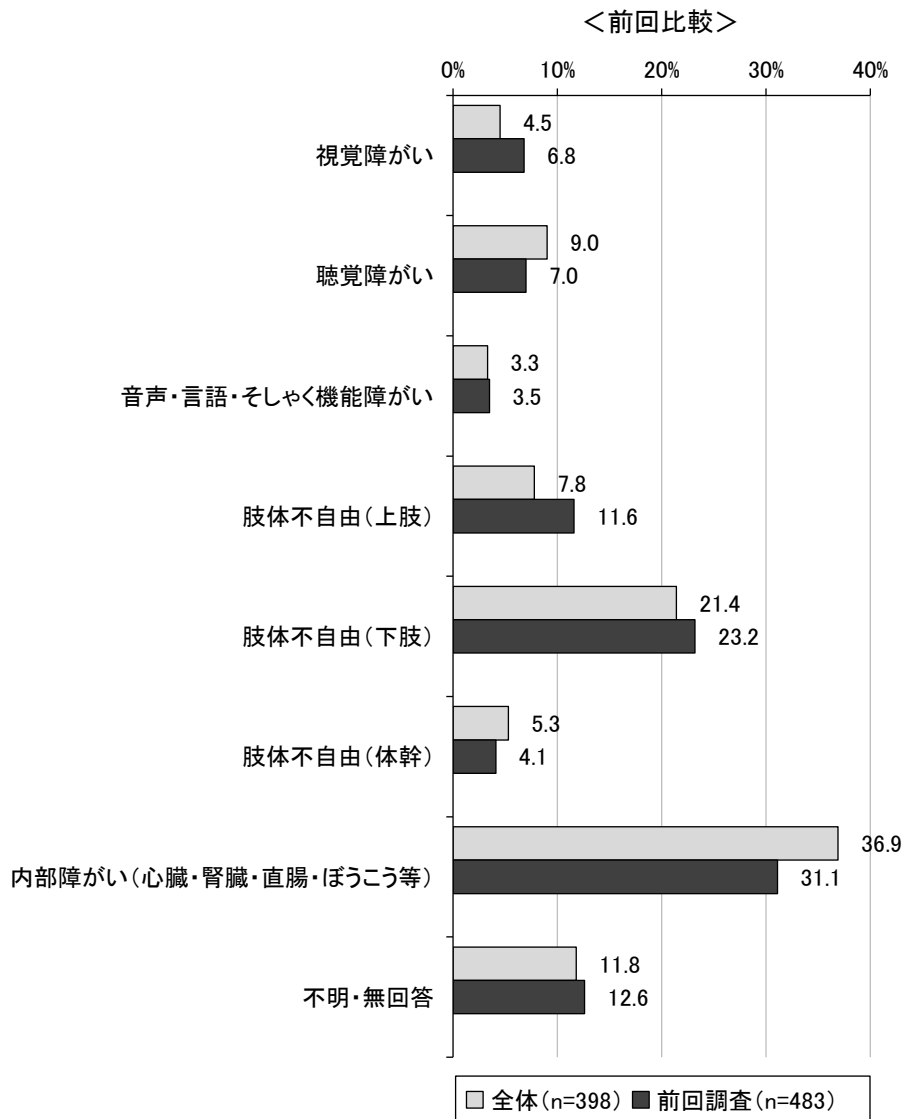


問7で「はい」を選択された方のみ

問8 認定されている主な障がいをお答えください。(〇は1つだけ)

認定されている主な障がいについてみると、「内部障がい(心臓・腎臓・直腸・ぼうこう等)」が 36.9%と最も高く、次いで「肢体不自由(下肢)」が 21.4%、「聴覚障がい」が 9.0%となっています。

前回と比較すると、「内部障がい(心臓・腎臓・直腸・ぼうこう等)」が 5.8 ポイント増加しています。





問9 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

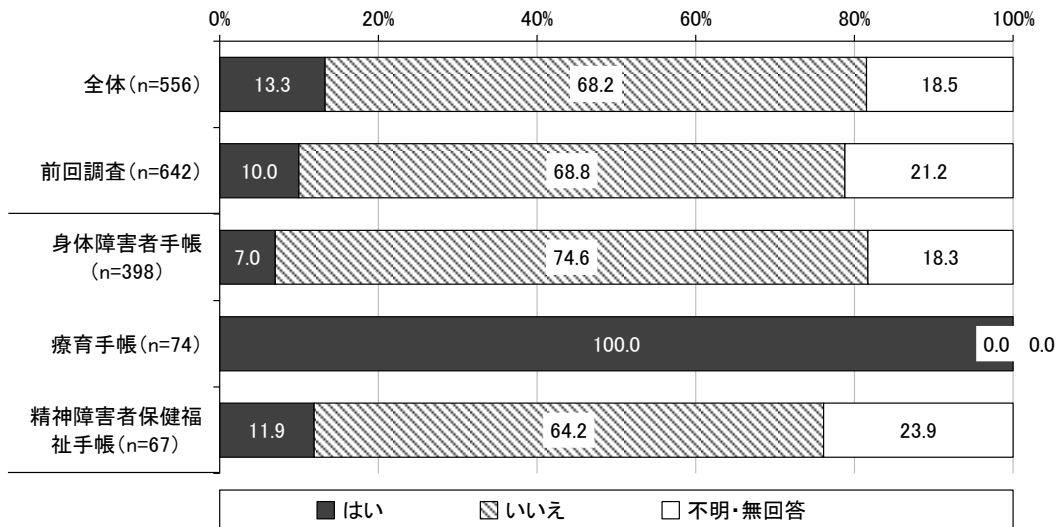
お持ちの場合は療育手帳の判定を1つだけお選びください。

手帳所持の有無

療育手帳の所持についてみると、「はい」が13.3%、「いいえ」が68.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「はい」、その他の種別では「いいえ」が上回っています。

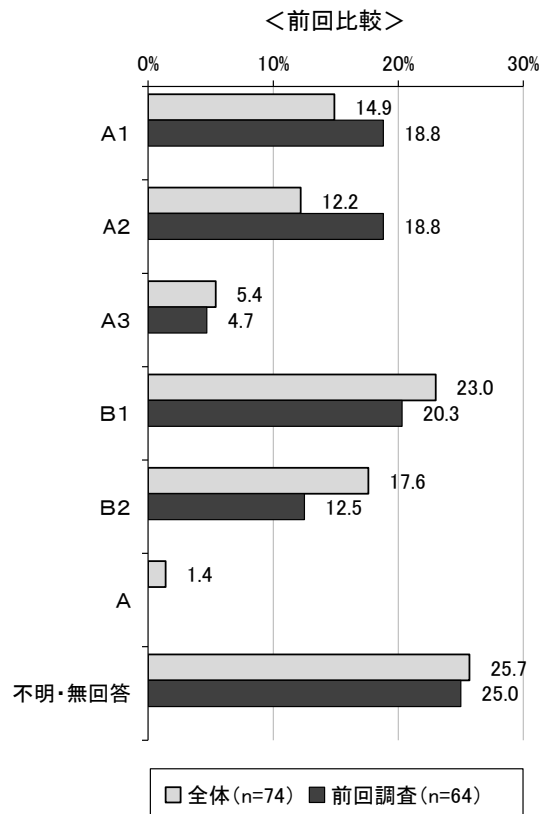


療育手帳をお持ちの方のみ

療育手帳の判定

等級についてみると、「B1」が23.0%と最も高く、次いで「B2」が17.6%、「A1」が14.9%となっています。

前回と比較すると、「A2」が6.6ポイント減少しています。



※今回調査のみ：「A」

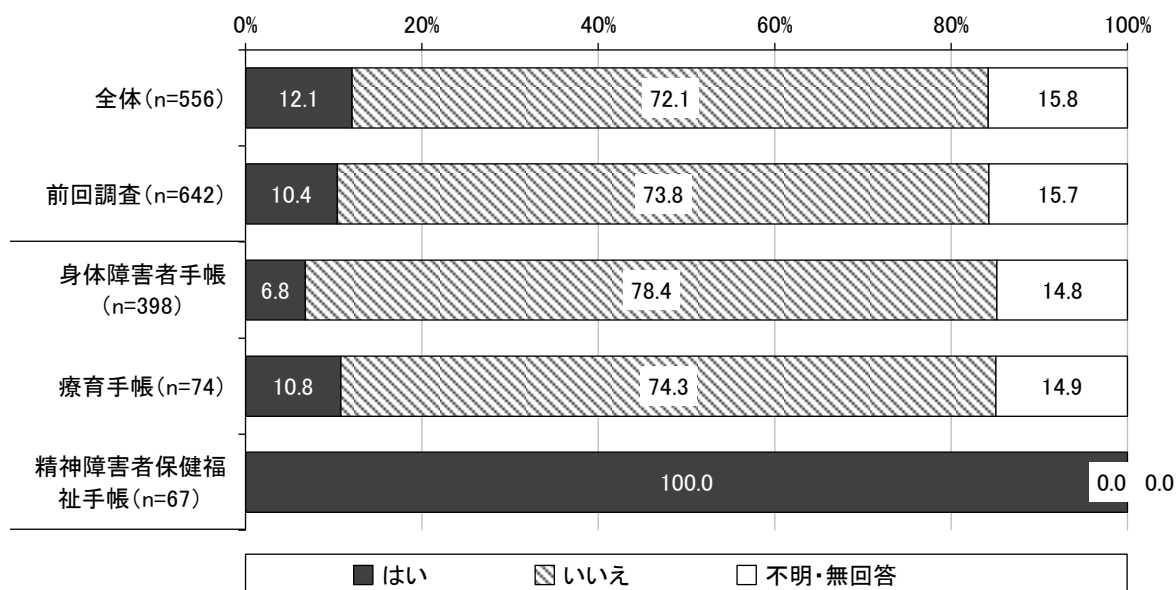
問 10 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)  
 お持ちの場合は精神障害者保健福祉手帳の等級を1つだけお選びください。

手帳所持の有無

障害者保健福祉手帳の所持についてみると、「はい」が12.1%、「いいえ」が72.1%となっています。  
 前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「はい」、その他の種別では「いいえ」が上回っています。

年齢別にみると、〔30～39歳〕では「はい」、その他の年齢では「いいえ」が上回っています。



〈年齢別〉

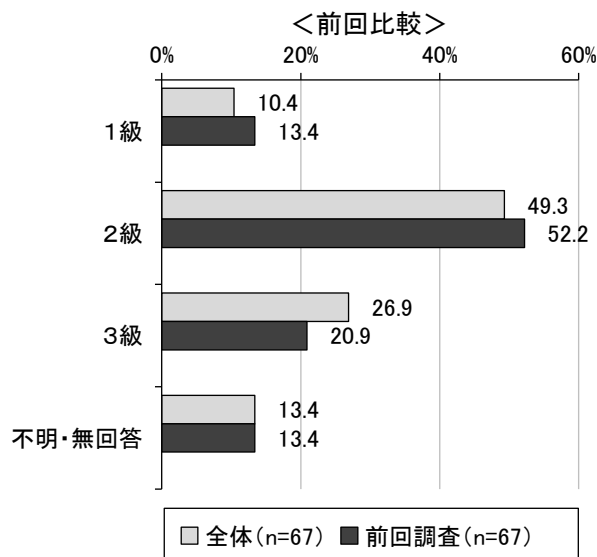
単位:%	はい	いいえ	無不明答・
全体 (n=556)	12.1	72.1	15.8
0～9歳 (n=18)	0.0	94.4	5.6
10～19歳 (n=15)	0.0	93.3	6.7
20～29歳 (n=17)	35.3	64.7	0.0
30～39歳 (n=22)	54.5	31.8	13.6
40～49歳 (n=31)	25.8	58.1	16.1
50～59歳 (n=57)	21.1	70.2	8.8
60～69歳 (n=59)	15.3	71.2	13.6
70～79歳 (n=149)	4.0	79.9	16.1
80歳以上 (n=161)	5.6	72.7	21.7

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方のみ

精神障害者保健福祉手帳の等級

等級についてみると、「2級」が 49.3%と最も高く、次いで「3級」が 26.9%、「1級」が 10.4%となっています。

前回と比較すると、「3級」が 6.0 ポイント増加しています。

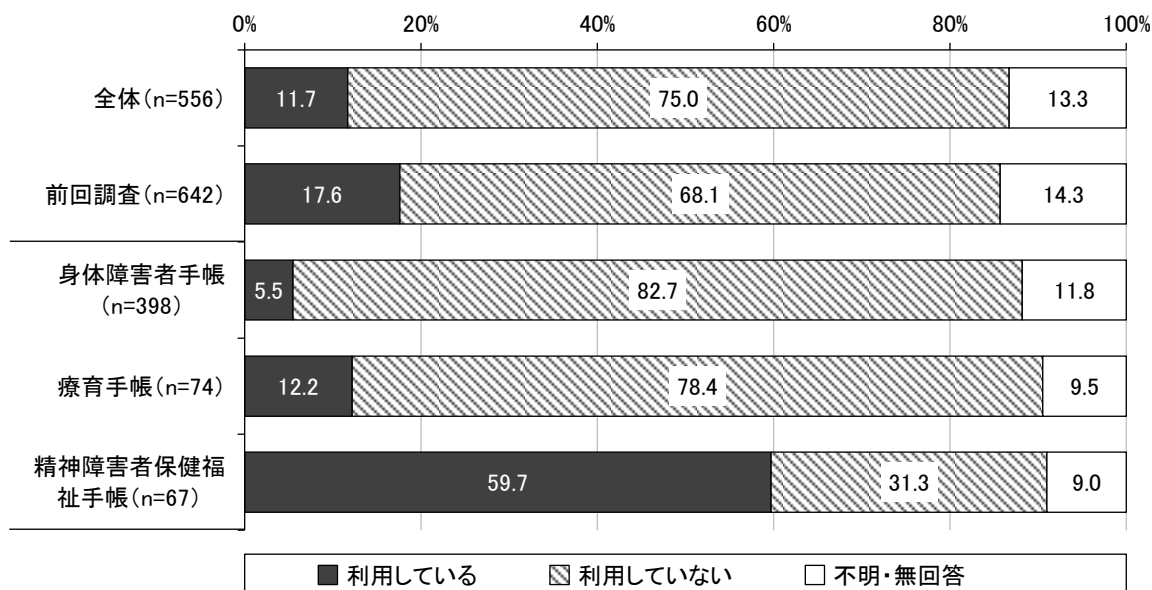


問 11 あなたは自立支援医療（精神通院）を利用していますか。（○は1つだけ）

自立支援医療（精神通院）の利用についてみると、「利用している」が 11.7%、「利用していない」が 75.0%となっています。

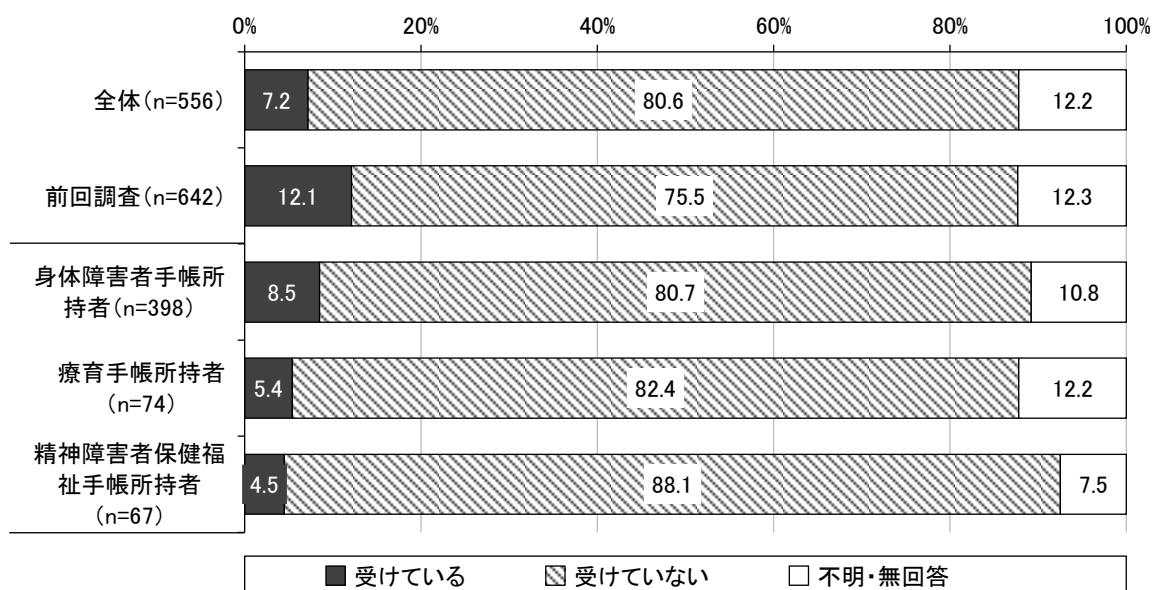
前回と比較すると、「利用している」が 5.9 ポイント減少しており、「利用していない」が 6.9 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「利用している」、その他の種別では「利用していない」が上回っています。



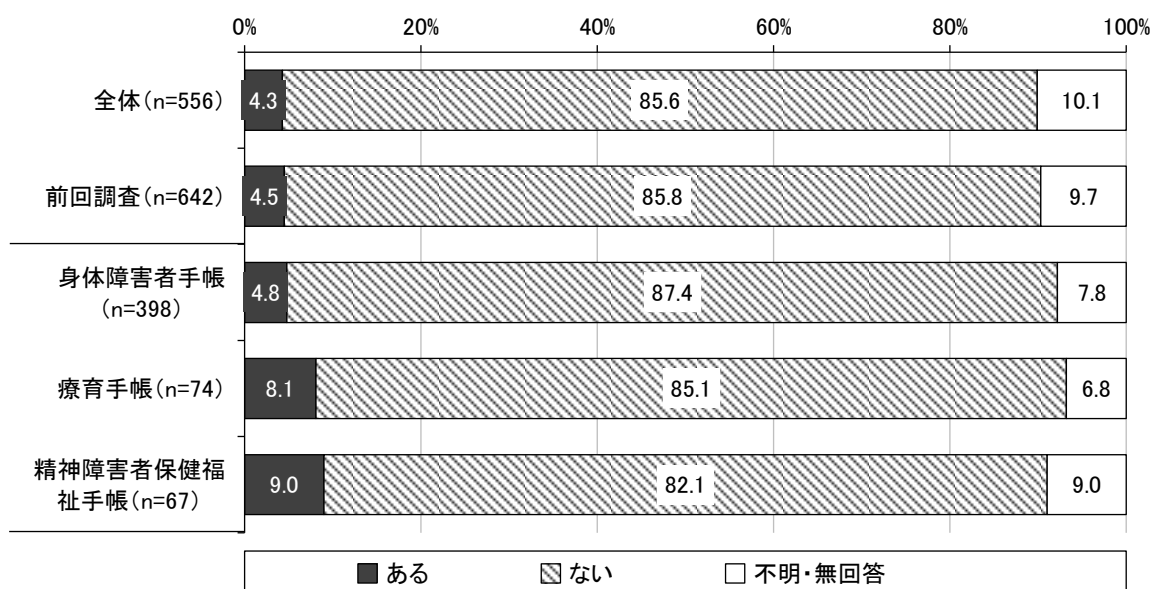
問 12 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

難病(指定難病)の認定についてみると、「受けている」が7.2%、「受けていない」が80.6%となっています。前回と比較すると、「受けていない」が5.1ポイント減少しています。障がい種別にみると、すべての種別で「受けていない」が上回っています。



問 13 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。（○は1つだけ）

高次脳機能障がいの診断についてみると、「ある」が4.3%、「ない」が85.6%となっています。前回と比較すると、大きな差はみられません。障がい種別にみると、すべての種別で「ない」が上回っています。



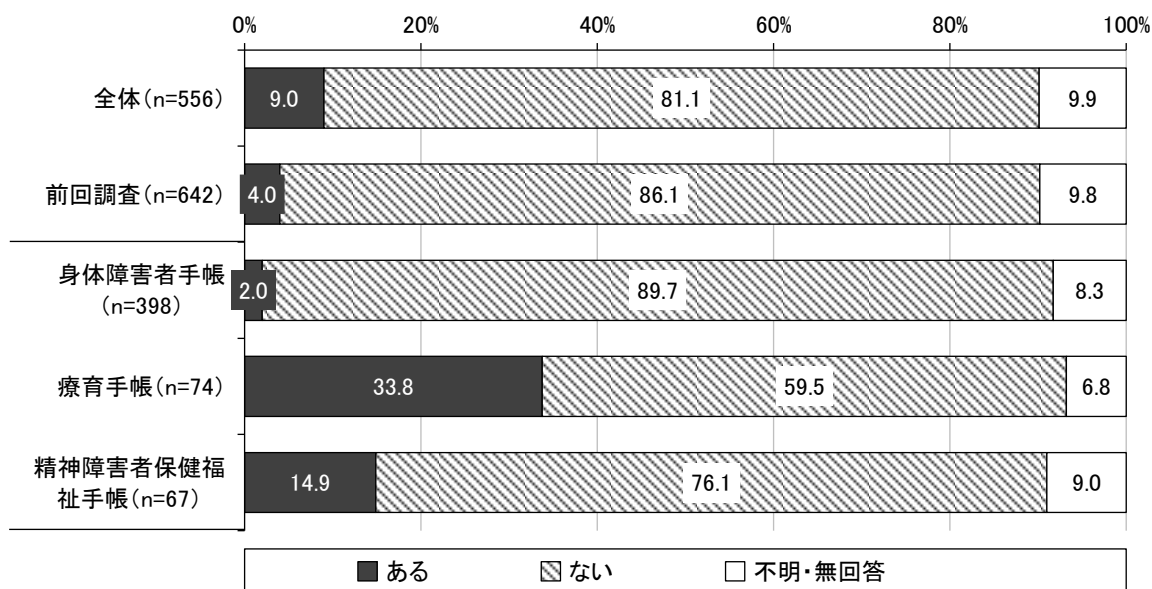
問 14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

発達障がいの診断についてみると、「ある」が9.0%、「ない」が81.1%となっています。

前回と比較すると、「ある」が5.0ポイント減少しており、「ない」が5.0ポイント増加しています。

障がい種別にみると、すべての種別で「ない」が上回っています。

年齢別にみると、[0～9歳]では「ある」「ない」が同率、[10～29歳]では「ある」、その他の年齢では「ない」が上回っています。



〈年齢別〉

単位:%	ある	ない	無不明回答・
全体 (n=556)	9.0	81.1	9.9
0～9歳 (n=18)	50.0	50.0	0.0
10～19歳 (n=15)	73.3	26.7	0.0
20～29歳 (n=17)	58.8	41.2	0.0
30～39歳 (n=22)	13.6	72.7	13.6
40～49歳 (n=31)	19.4	74.2	6.5
50～59歳 (n=57)	10.5	84.2	5.3
60～69歳 (n=59)	3.4	86.4	10.2
70～79歳 (n=149)	0.0	87.9	12.1
80歳以上 (n=161)	0.0	88.2	11.8

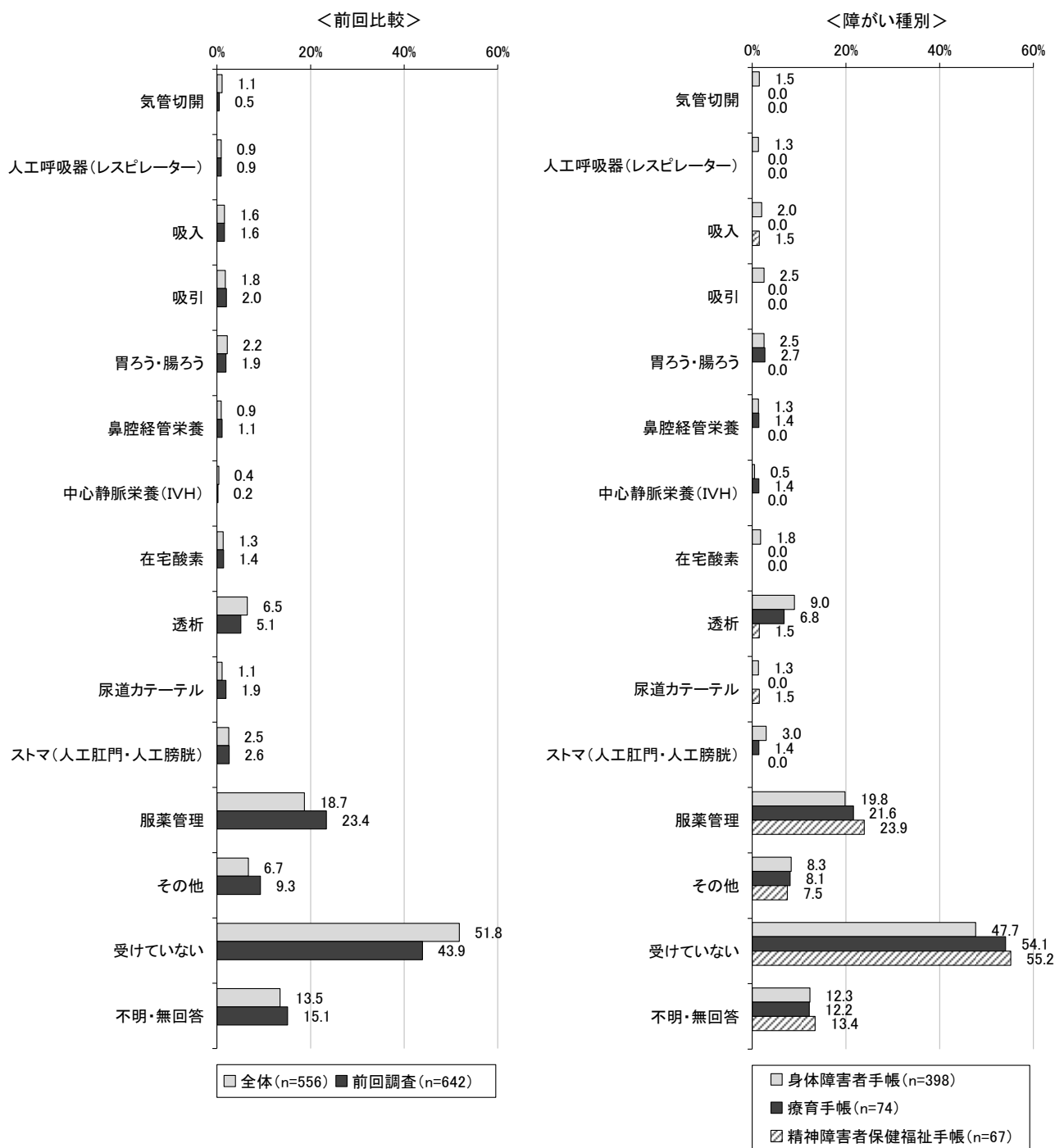
問 15 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

現在受けている医療的ケアについてみると、「受けていない」が 51.8%と最も高く、次いで「服薬管理」が 18.7%、「透析」が 6.5%となっています。

前回と比較すると、「受けていない」が 7.9 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、すべての種別で「受けていない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢で「受けていない」が最も高くなっています。



<年齢別>

単位:%	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養 (IVH)	在宅酸素
全体(n=556)	1.1	0.9	1.6	1.8	2.2	0.9	0.4	1.3
0～9歳(n=18)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10～19歳(n=15)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳(n=17)	11.8	11.8	0.0	11.8	0.0	11.8	0.0	11.8
30～39歳(n=22)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
40～49歳(n=31)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50～59歳(n=57)	3.5	0.0	3.5	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
60～69歳(n=59)	0.0	0.0	0.0	1.7	3.4	1.7	0.0	0.0
70～79歳(n=149)	0.7	0.0	0.7	1.3	2.7	0.0	0.0	1.3
80歳以上(n=161)	0.0	1.9	3.1	1.2	1.9	0.6	0.6	1.9

単位:%	透析	尿道カテーテル	ストマ(人工膀胱)	人工肛門	服薬管理	その他	受けていない	不明・無回答
全体(n=556)	6.5	1.1	2.5	18.7	6.7	51.8	13.5	
0～9歳(n=18)	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	88.9	5.6	
10～19歳(n=15)	0.0	0.0	0.0	26.7	6.7	66.7	0.0	
20～29歳(n=17)	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	58.8	17.6	
30～39歳(n=22)	0.0	0.0	0.0	31.8	0.0	59.1	9.1	
40～49歳(n=31)	3.2	0.0	0.0	25.8	9.7	58.1	9.7	
50～59歳(n=57)	7.0	3.5	0.0	19.3	5.3	54.4	7.0	
60～69歳(n=59)	11.9	1.7	0.0	20.3	13.6	47.5	8.5	
70～79歳(n=149)	10.1	0.7	5.4	15.4	4.0	47.7	16.8	
80歳以上(n=161)	5.0	0.6	3.7	17.4	8.7	48.4	16.8	

### 3 住まいや暮らしについて

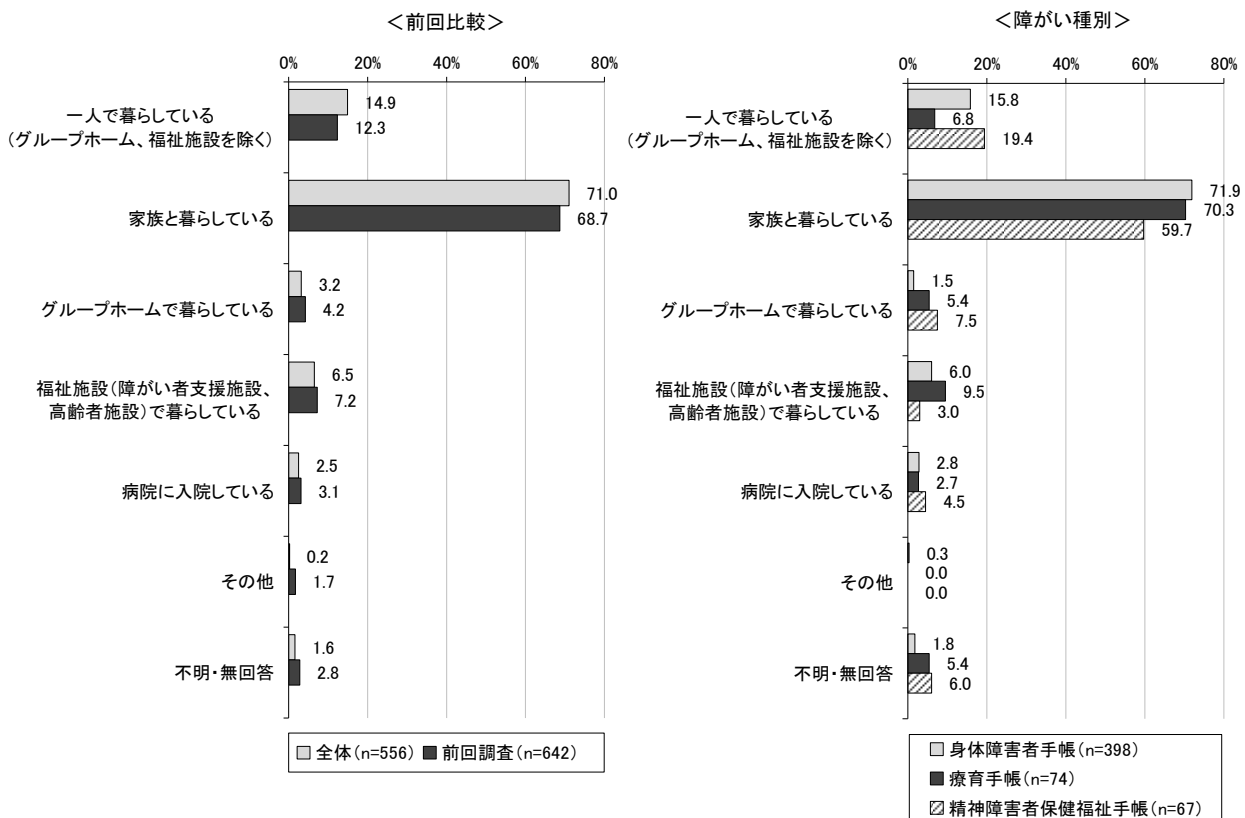
問 16 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

また、家族と暮らしている場合は同居者の方をすべてお選びください。

現在の暮らし方についてみると、「家族と暮らしている」が71.0%と最も高く、次いで「一人で暮らしている(グループホーム、福祉施設を除く)」が14.9%、「福祉施設(障がい者支援施設、高齢者施設)で暮らしている」が6.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、すべての種別で「家族と暮らしている」が最も高くなっています。





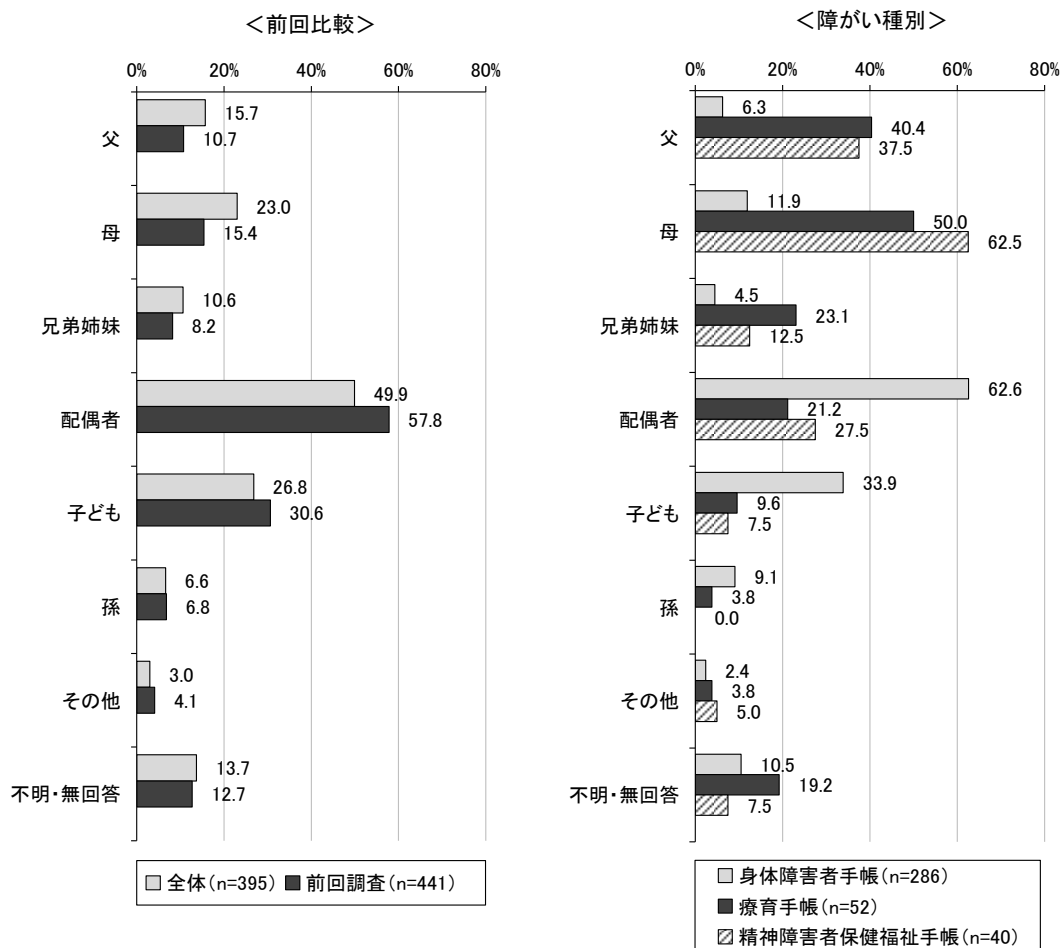
問 16 で「家族と暮らしている」を選択された方のみ

同居者の方（あてはまるものすべてに○）

同居者についてみると、「配偶者」が 49.9%と最も高く、次いで「子ども」が 26.8%、「母」が 23.0%となっています。

前回と比較すると、「配偶者」が 7.9 ポイント減少しており、「母」が 7.6 ポイント、「父」が 5.0 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「配偶者」、その他の種別では「母」が最も高くなっています。



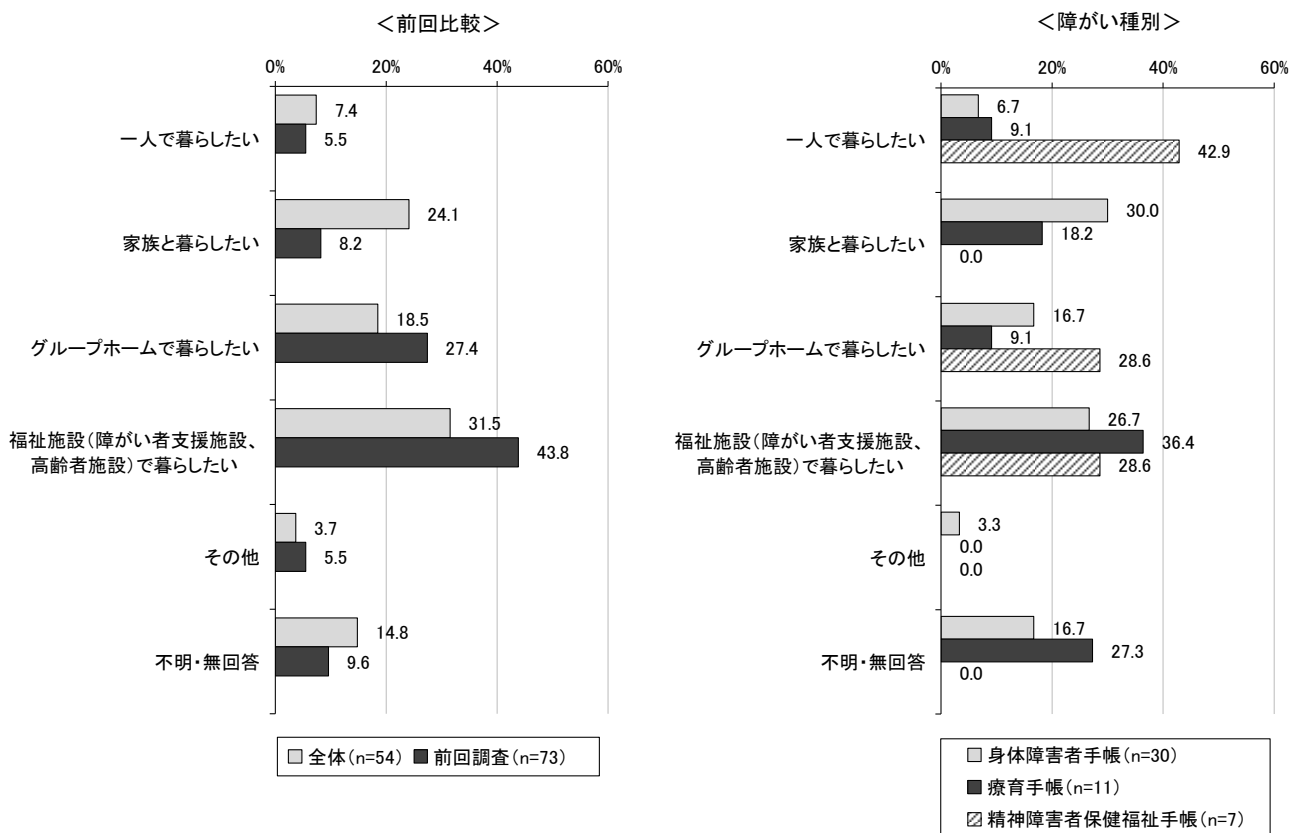
問 16 で「グループホームで暮らしている」「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者施設）で暮らしている」を選択された方のみ

問 17 あなたは将来、どのような場所で生活したいと思いますか。（○は1つだけ）

将来、生活したい場所についてみると、「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者施設）で暮らしたい」が 31.5%と最も高く、次いで「家族と暮らしたい」が 24.1%、「グループホームで暮らしたい」が 18.5%となっています。

前回と比較すると、「家族と暮らしたい」が 15.9 ポイント、「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者施設）で暮らしたい」が 12.3 ポイント増加しており、「グループホームで暮らしたい」が 8.9 ポイント減少しています。

障がい種別にみると〔身体障害者手帳〕では「家族と暮らしたい」、〔療育手帳〕では「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者施設）で暮らしたい」が最も高くなっています。



問 16 で「グループホームで暮らしている」「福祉施設（障がい者支援施設、高齢者施設）で暮らしている」を選択された方のみ

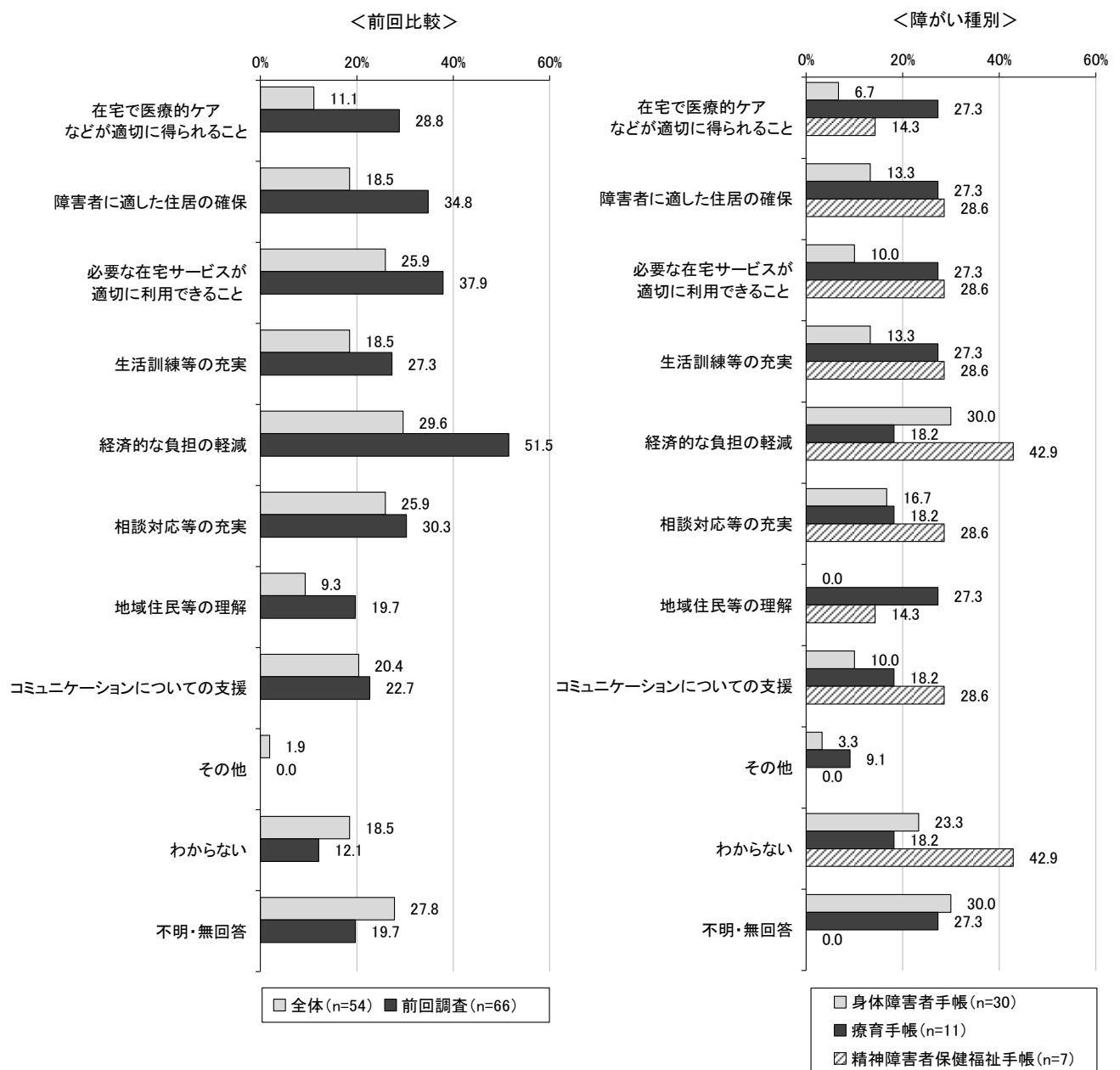
問 18 問 17 で選んだ場所で生活するためには、どのような支援が必要だと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

必要な支援についてみると、「経済的な負担の軽減」が 29.6%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」「相談対応等の充実」がともに 25.9%となっています。

前回と比較すると、「わからない」が 6.4 ポイント増加しており、その他の項目ではすべて減少しています。特に「経済的な負担の軽減」が 21.9 ポイント、「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」が 17.7 ポイント、「障害者に適した住居の確保」が 16.3 ポイント減少しています。

障がい種別にみると〔身体障害者手帳〕では「経済的な負担の軽減」、〔療育手帳〕では「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」「障害者に適した住居の確保」「必要な在宅サービスが適切に利用できること」「生活訓練等の充実」「地域住民等の理解」が最も高くなっています。



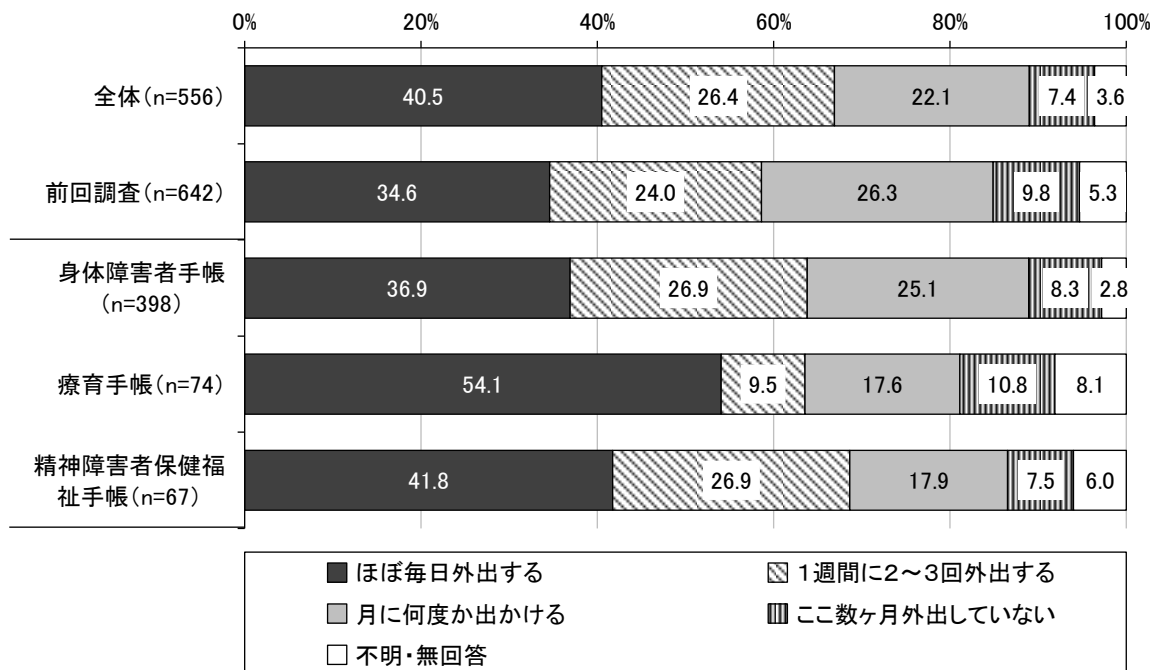
## 4 日中活動や就労について

問 19 あなたは、どの程度外出しますか。(○は1つだけ)

外出の頻度についてみると、「ほぼ毎日外出する」が 40.5%と最も高く、次いで「1週間に2～3回外出する」が 26.4%、「月に何度か出かける」が 22.1%となっています。

前回と比較すると、「ほぼ毎日外出する」が 5.9 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、すべての種別で「ほぼ毎日外出する」が最も高くなっています。



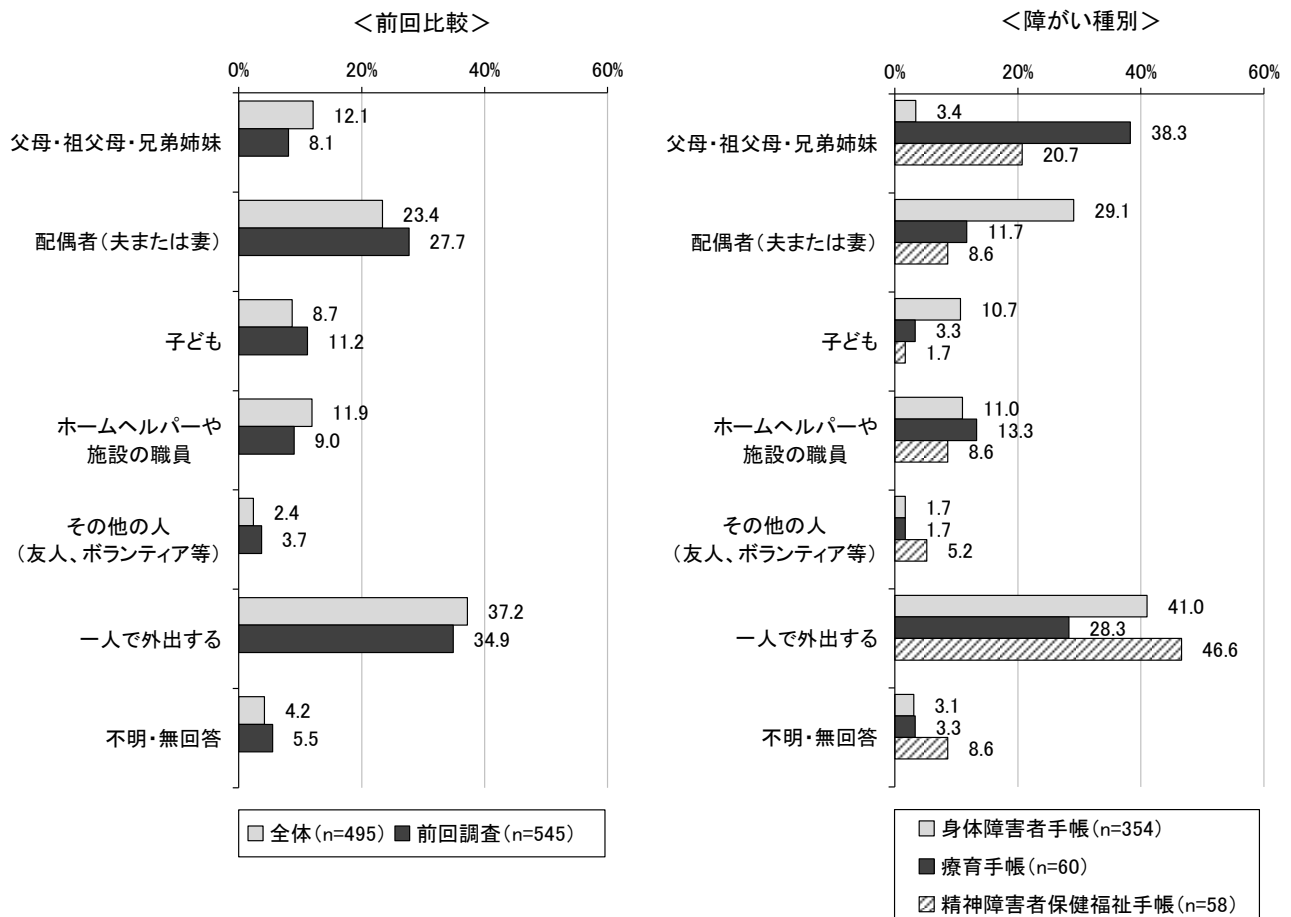
問 19 で「ほぼ毎日外出する」～「月に何度か出かける」を選択した方のみ

問 20 あなたは、外出する際にだれと外出することが多いですか。(○は1つだけ)

一緒に外出する人についてみると、「一人で外出する」が 37.2%と最も高く、次いで「配偶者(夫または妻)」が 23.4%、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が 12.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「父母・祖父母・兄弟姉妹」、その他の種別では「一人で外出する」が最も高くなっています。



問 19 で「ほぼ毎日外出する」～「月に何度か出かける」を選択した方のみ

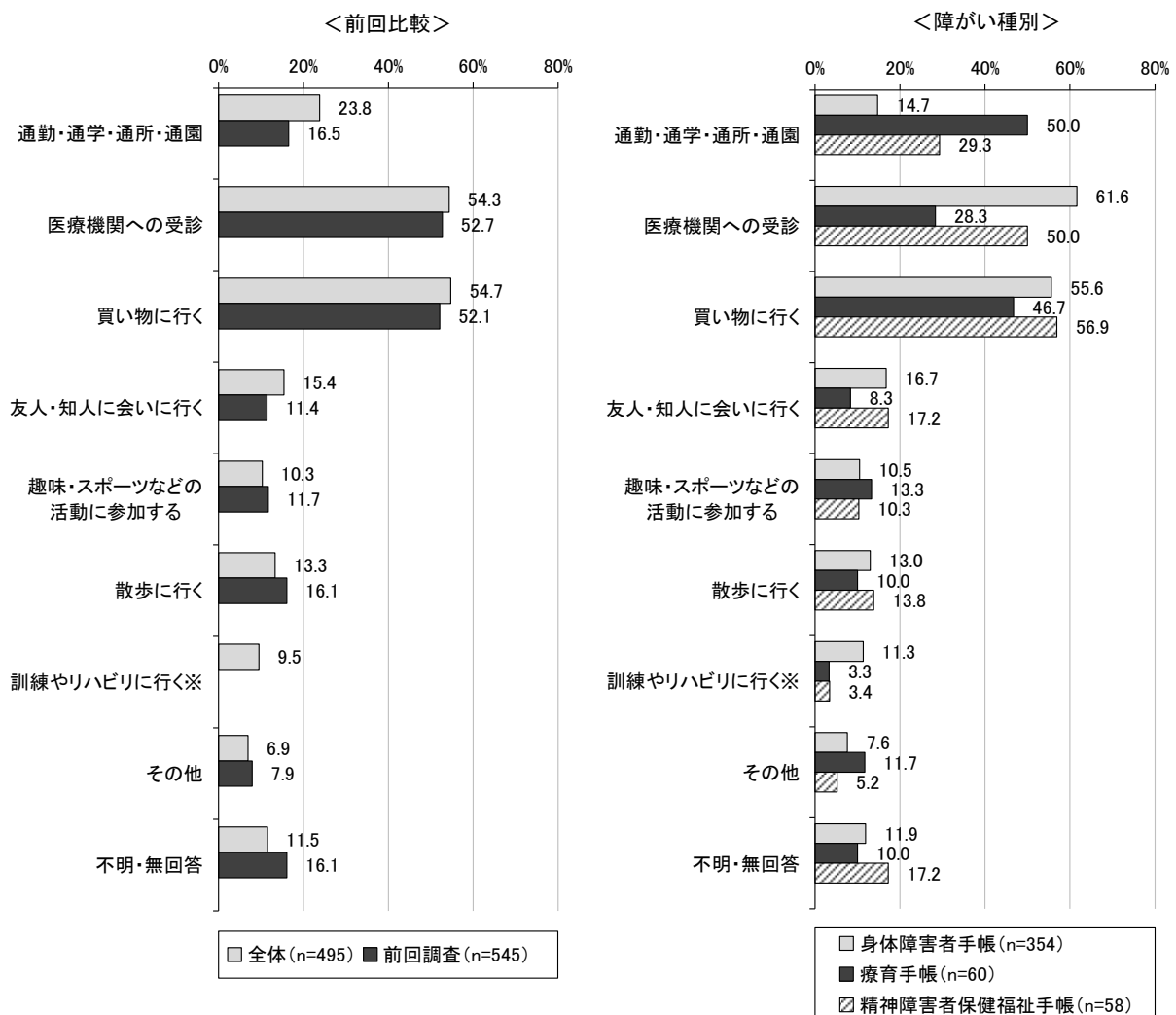
問 21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

外出の目的についてみると、「買い物に行く」が 54.7%と最も高く、次いで「医療機関への受診」が 54.3%、「通勤・通学・通所・通園」が 23.8%となっています。

前回と比較すると、「通勤・通学・通所・通園」が 7.3 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「医療機関への受診」、〔療育手帳〕では「通勤・通学・通所・通園」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「買い物に行く」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〔0～29 歳〕〔40～49 歳〕では「通勤・通学・通所・通園」、〔30～39 歳〕〔50～69 歳〕では「買い物に行く」、〔70 歳以上〕では「医療機関への受診」が最も高くなっています。



※今回調査のみ：「訓練やリハビリに行く」

〈年齢別〉

単位:%	通勤・通学・通所・通園	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会いに行く	趣味・スポーツなどの活動に参加する	散歩に行く	訓練やリハビリに行く	その他	不明・無回答
全体 (n=495)	23.8	<b>54.3</b>	<b>54.7</b>	15.4	10.3	13.3	9.5	6.9	11.5
0～9歳 (n=17)	<b>100.0</b>	11.8	<b>29.4</b>	17.6	0.0	17.6	0.0	5.9	0.0
10～19歳 (n=15)	<b>93.3</b>	26.7	<b>46.7</b>	0.0	13.3	6.7	0.0	13.3	0.0
20～29歳 (n=17)	<b>70.6</b>	29.4	<b>47.1</b>	29.4	23.5	0.0	0.0	5.9	11.8
30～39歳 (n=19)	<b>47.4</b>	31.6	<b>68.4</b>	26.3	15.8	15.8	5.3	10.5	5.3
40～49歳 (n=27)	<b>63.0</b>	33.3	<b>51.9</b>	14.8	18.5	22.2	0.0	3.7	18.5
50～59歳 (n=48)	35.4	<b>39.6</b>	<b>54.2</b>	10.4	8.3	4.2	2.1	4.2	25.0
60～69歳 (n=53)	22.6	<b>58.5</b>	<b>64.2</b>	17.0	13.2	15.1	7.5	5.7	9.4
70～79歳 (n=140)	8.6	<b>64.3</b>	<b>57.9</b>	21.4	11.4	13.6	12.9	7.1	10.7
80歳以上 (n=137)	2.9	<b>64.2</b>	<b>51.1</b>	8.8	7.3	17.5	16.1	8.0	10.9

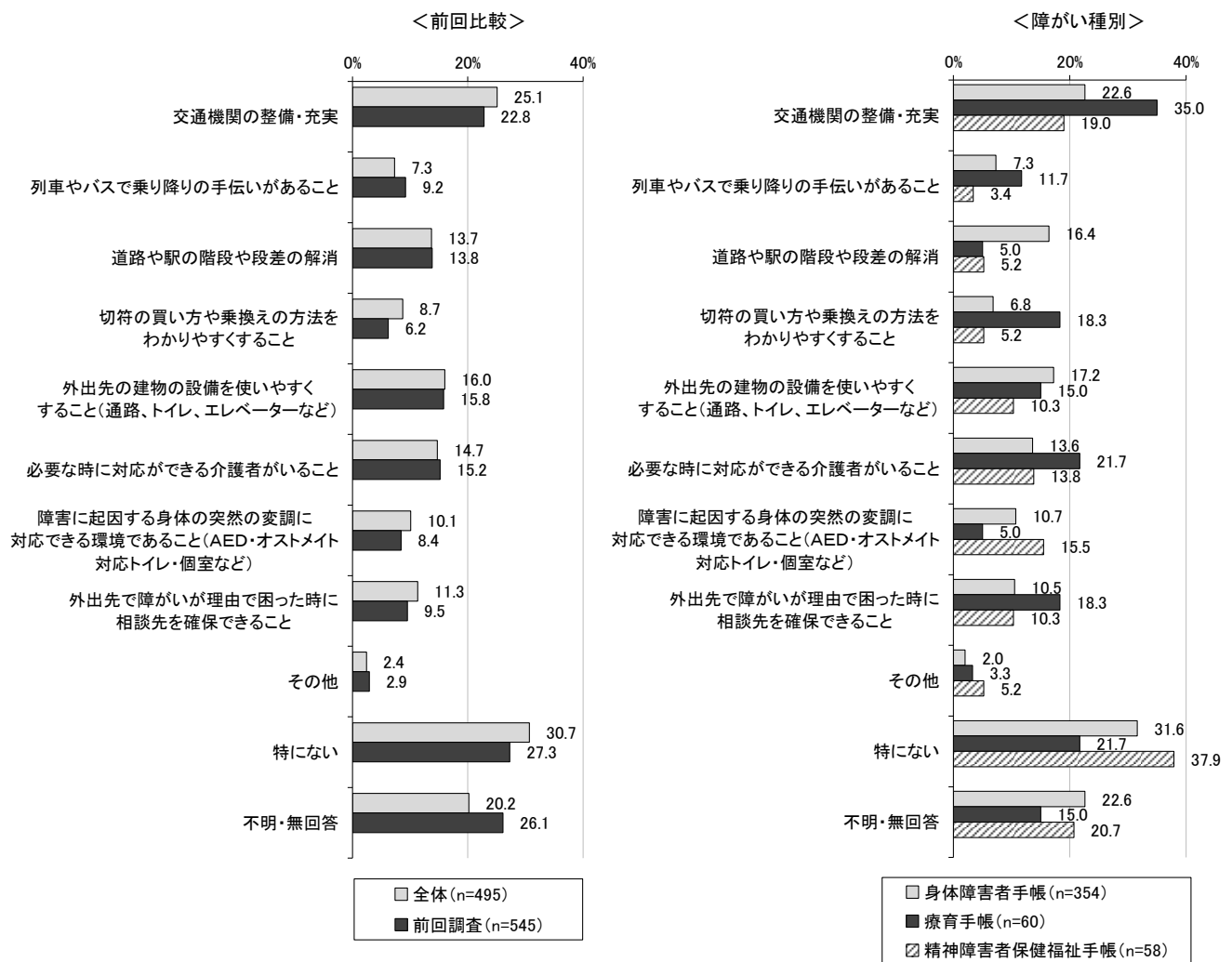
問 19 で「ほぼ毎日外出する」～「月に何度か出かける」を選択した方のみ

問 22 どのような支援があればもっと外出しやすくなりますか。(あてはまるものすべてに○)

外出しやすくなる支援についてみると、「特にない」が30.7%と最も高く、次いで「交通機関の整備・充実」が25.1%、「外出先の建物の設備を使いやすくすること(通路、トイレ、エレベーターなど)」が16.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別に見ると、〔療育手帳〕では「交通機関の整備・充実」、その他の種別では「特にない」が最も高くなっています。



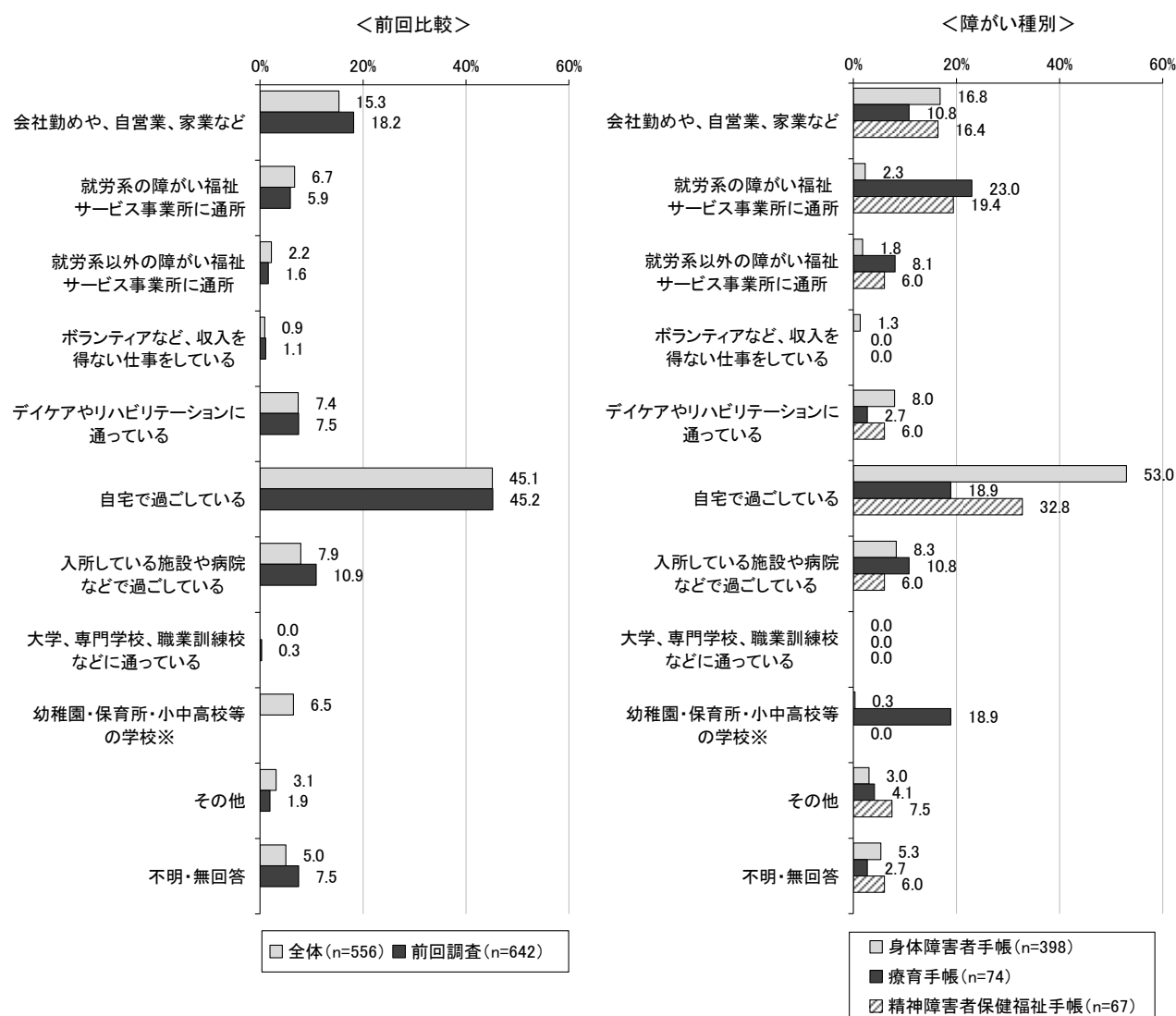


問 23 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

平日の日中の過ごし方についてみると、「自宅で過ごしている」が 45.1%と最も高く、次いで「会社勤めや、自営業、家業など」が 15.3%、「入所している施設や病院などで過ごしている」が 7.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「就労系の障がい福祉サービス事業所に通所」、その他の種別では「自宅で過ごしている」が最も高くなっています。



※今回調査のみ：「幼稚園・保育所・小中高校等の学校」

問 23 で「会社勤めや、自営業、家業など」を選択した方のみ

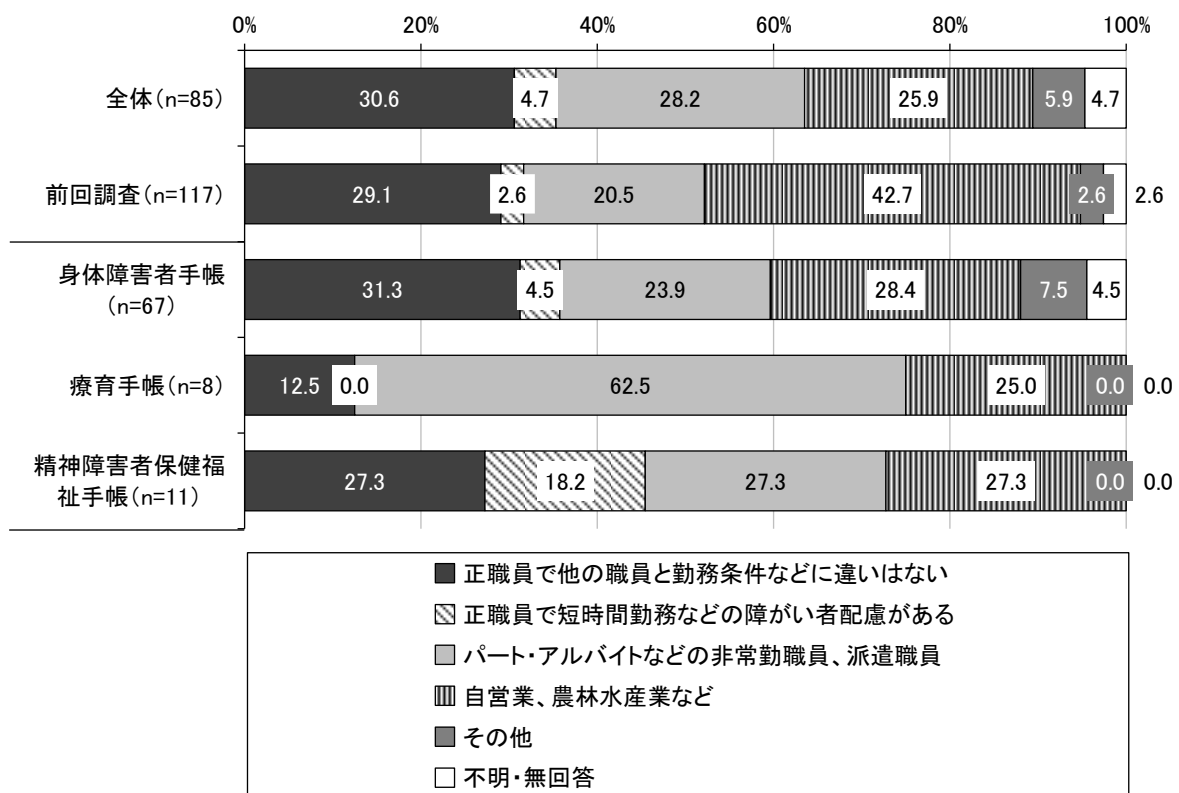
問 24 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

勤務形態についてみると、「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」が 30.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」が 28.2%、「自営業、農林水産業など」が 25.9%となっています。

前回と比較すると、「自営業、農林水産業など」が 16.8 ポイント減少しており、「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」が 7.7 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」「自営業、農林水産業など」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〔50～59 歳〕では「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」、〔70～79 歳〕では「自営業、農林水産業など」が最も高くなっています。



〈年齢別〉

単位:%	正職員ではない 他の職員と勤務条件な どに違いはない	正職員で短時間勤務などの障 がい者配慮がある	パート・アルバイトなどの非常 勤職員、派遣職員	自営業、農林水産業など	その他	不明・無回答
全体(n=85)	30.6	4.7	28.2	25.9	5.9	4.7
10～19歳(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳(n=7)	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0
30～39歳(n=7)	42.9	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0
40～49歳(n=9)	55.6	0.0	22.2	11.1	11.1	0.0
50～59歳(n=20)	55.0	15.0	20.0	5.0	5.0	0.0
60～69歳(n=9)	22.2	0.0	44.4	22.2	11.1	0.0
70～79歳(n=23)	8.7	0.0	26.1	52.2	4.3	8.7
80歳以上(n=7)	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	28.6

※〔0～9歳〕はn=0のため記載なし。

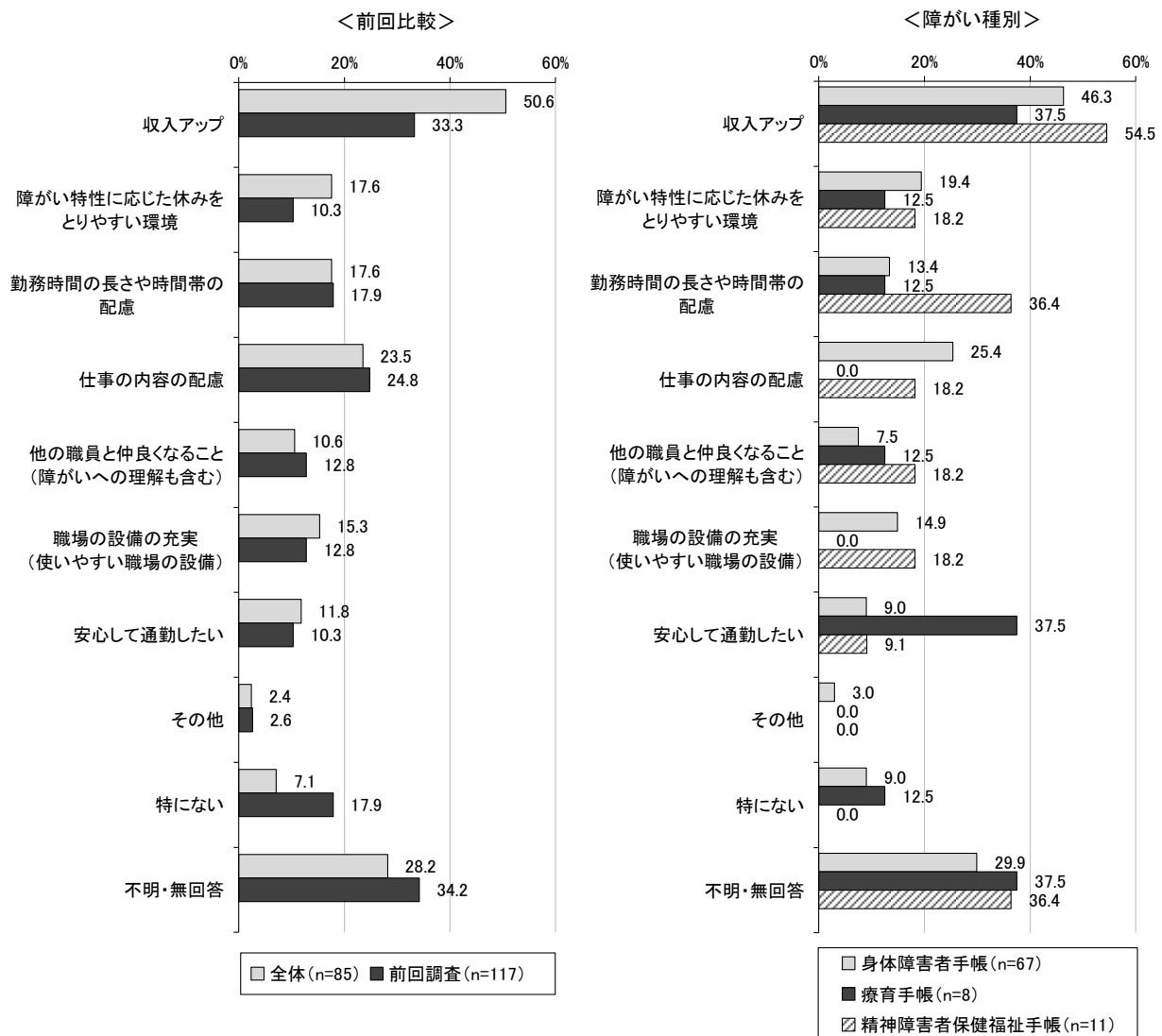
問 23 で「会社勤めや、自営業、家業など」を選択した方のみ

問 25 就労を継続する上でどのようなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

就労を継続する上で希望することについてみると、「収入アップ」が 50.6%と最も高く、次いで「仕事の内容の配慮」が 23.5%、「障がい特性に応じた休みをとりやすい環境」「勤務時間の長さや時間帯の配慮」が 17.6%となっています。

前回と比較すると、「収入アップ」が 17.3 ポイント、「障がい特性に応じた休みをとりやすい環境」が 7.3 ポイント増加しており、「特にない」が 10.8 ポイント減少しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕〔精神障害者保健福祉手帳〕では「収入アップ」が最も高くなっています。



問 23 で「会社勤めや、自営業、家業など」を選択した方のみ

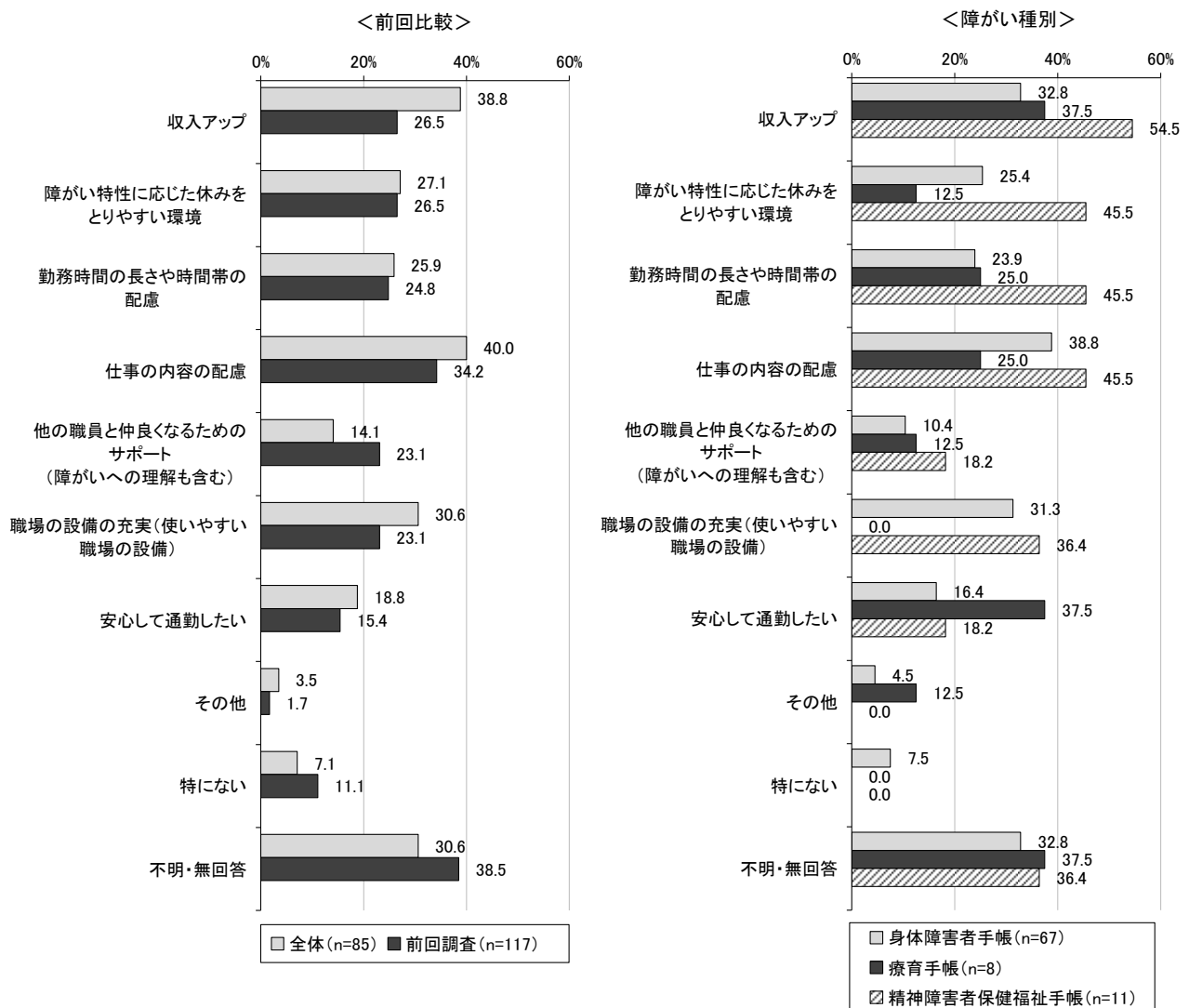
問 26 あなたは、障がいのある方が就労する上でどのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

障がいのある方が就労する上で必要なことについてみると、「仕事の内容の配慮」が 40.0%と最も高く、次いで「収入アップ」が 38.8%、「職場の設備の充実(使いやすい職場の設備)」が 30.6%となっています。

前回と比較すると、「収入アップ」が 12.3 ポイント、「職場の設備の充実(使いやすい職場の設備)」が 7.5 ポイント増加しており、「他の職員と仲良くなるためのサポート(障がいへの理解も含む)」が 9.0 ポイント減少しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「仕事の内容の配慮」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「収入アップ」が最も高くなっています。



## 5 障がい福祉サービスなどの利用について

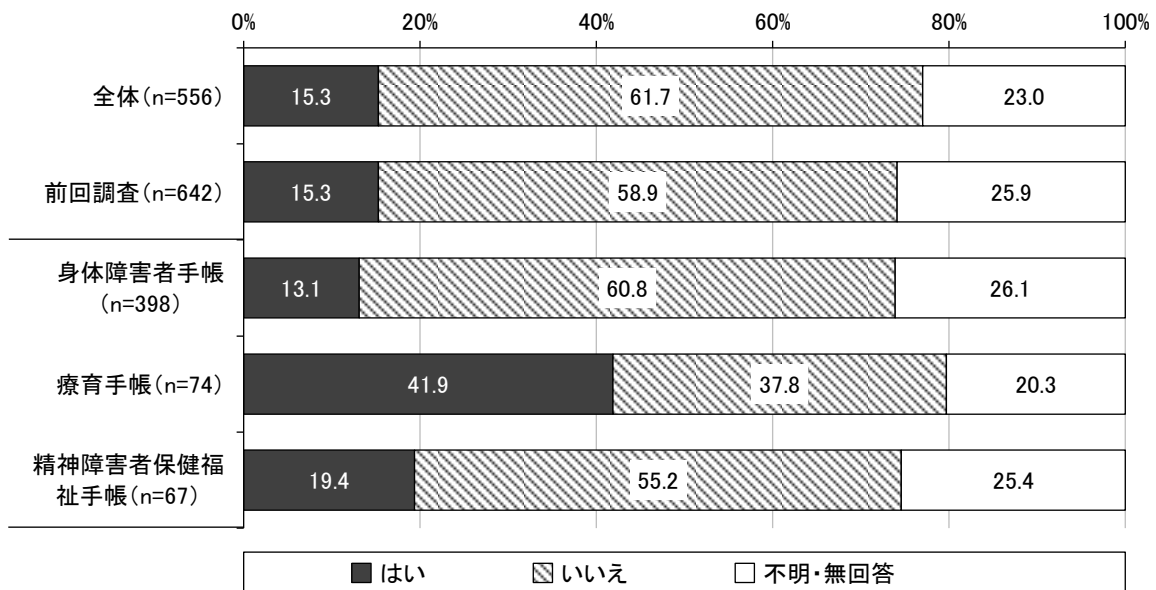
問 27 あなたは障がい支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

認定を受けている場合は障害支援区分を1つだけお選びください。

障がい支援区分の認定についてみると、「はい」が15.3%、「いいえ」が61.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「はい」、その他の種別では「いいえ」が上回っています。



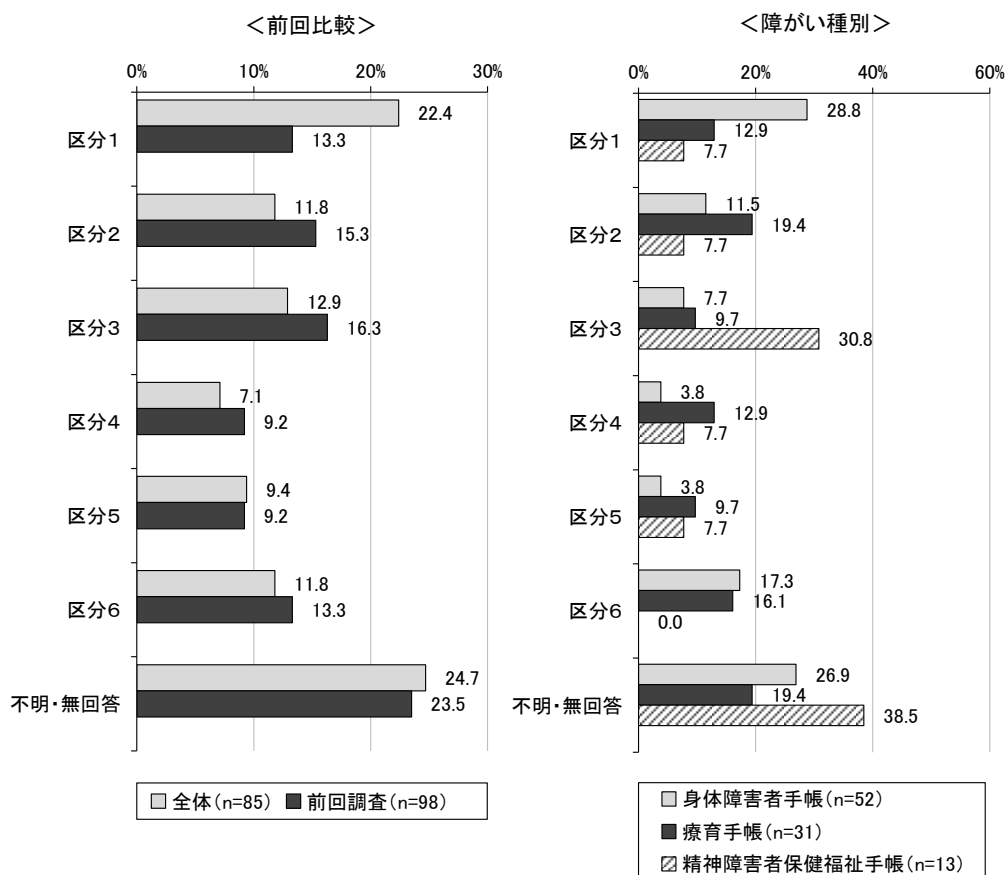
問 27 で「はい」を選択された方のみ

障害支援区分

障害支援区分についてみると、「区分1」が 22.4%と最も高く、次いで「区分3」が 12.9%、「区分2」「区分6」が 11.8%となっています。

前回と比較すると、「区分1」が 9.1 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「区分1」、〔療育手帳〕では「区分2」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「区分3」が最も高くなっています。



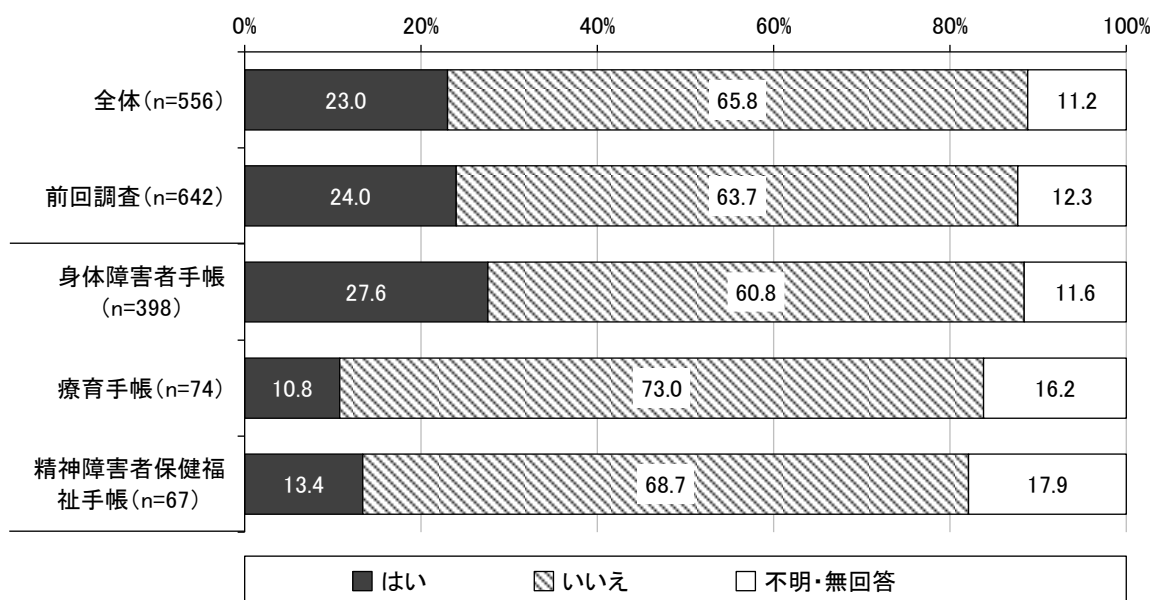
問 28 あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つだけ)

認定を受けている場合は要介護認定の要介護度を1つだけお選びください。

介護保険の要介護認定についてみると、「はい」が23.0%、「いいえ」が65.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、すべての種別で「いいえ」が上回っています。





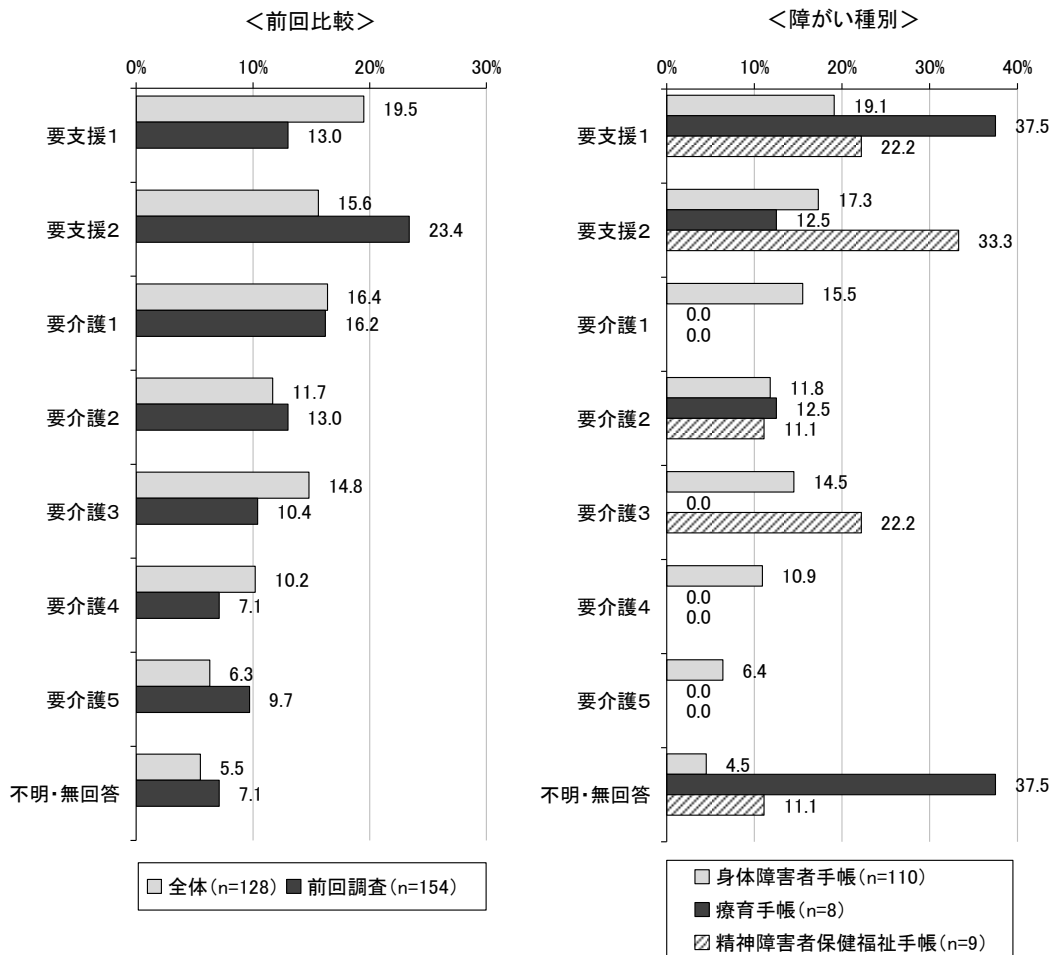
問 28 で「はい」を選択された方のみ

要介護認定の要介護度

要介護認定の要介護度についてみると、「要支援1」が 19.5%と最も高く、次いで「要介護1」が 16.4%、「要支援2」が 15.6%となっています。

前回と比較すると、「要支援2」が 7.8 ポイント減少しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「要支援1」が最も高くなっています。



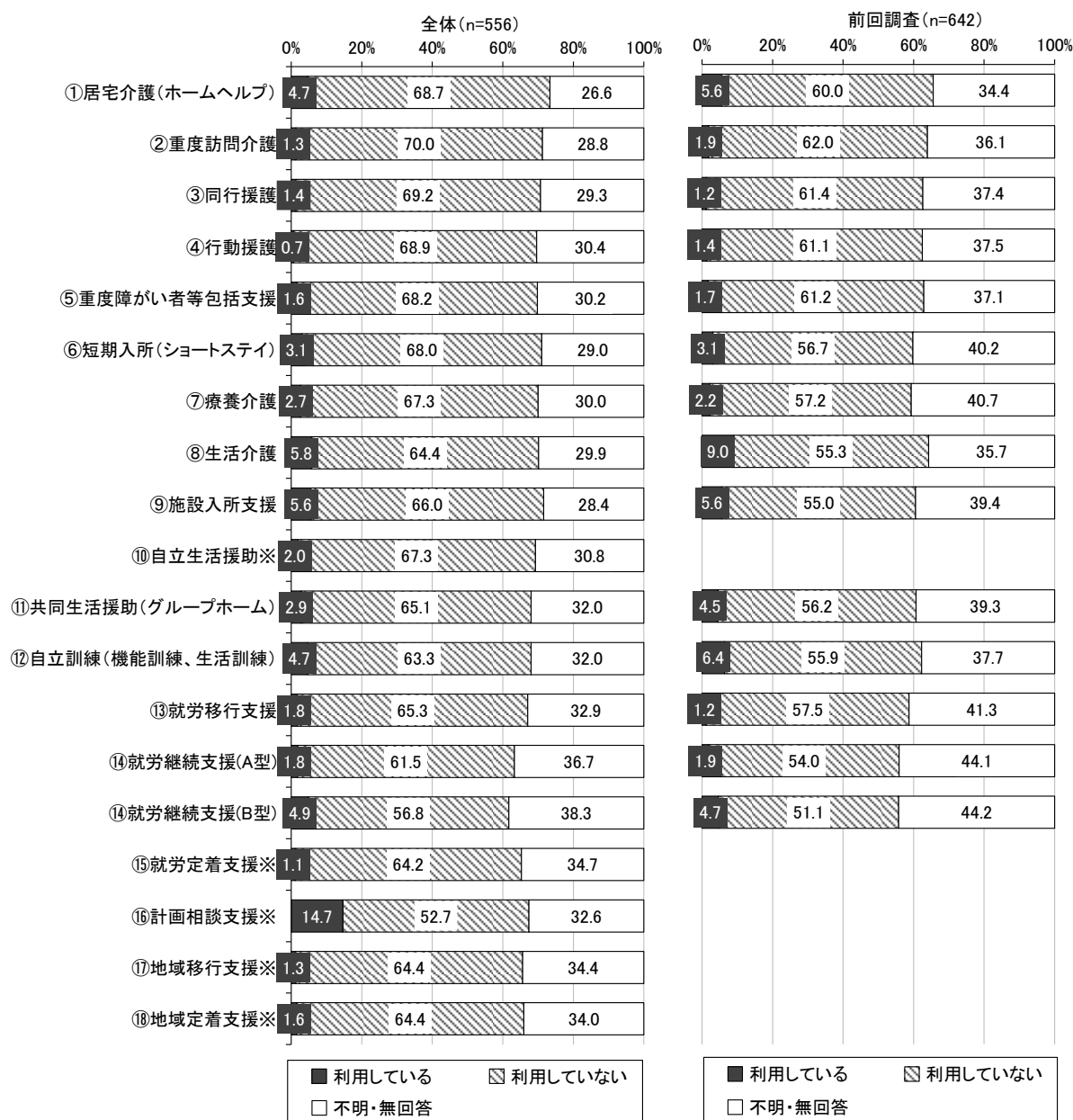
問 29 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑱のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

現在利用しているか

現在のサービス利用状況についてみると、すべての項目で【利用していない】が【利用している】を上回っています。

前回と比較すると、いずれの項目も大きな差はみられません。

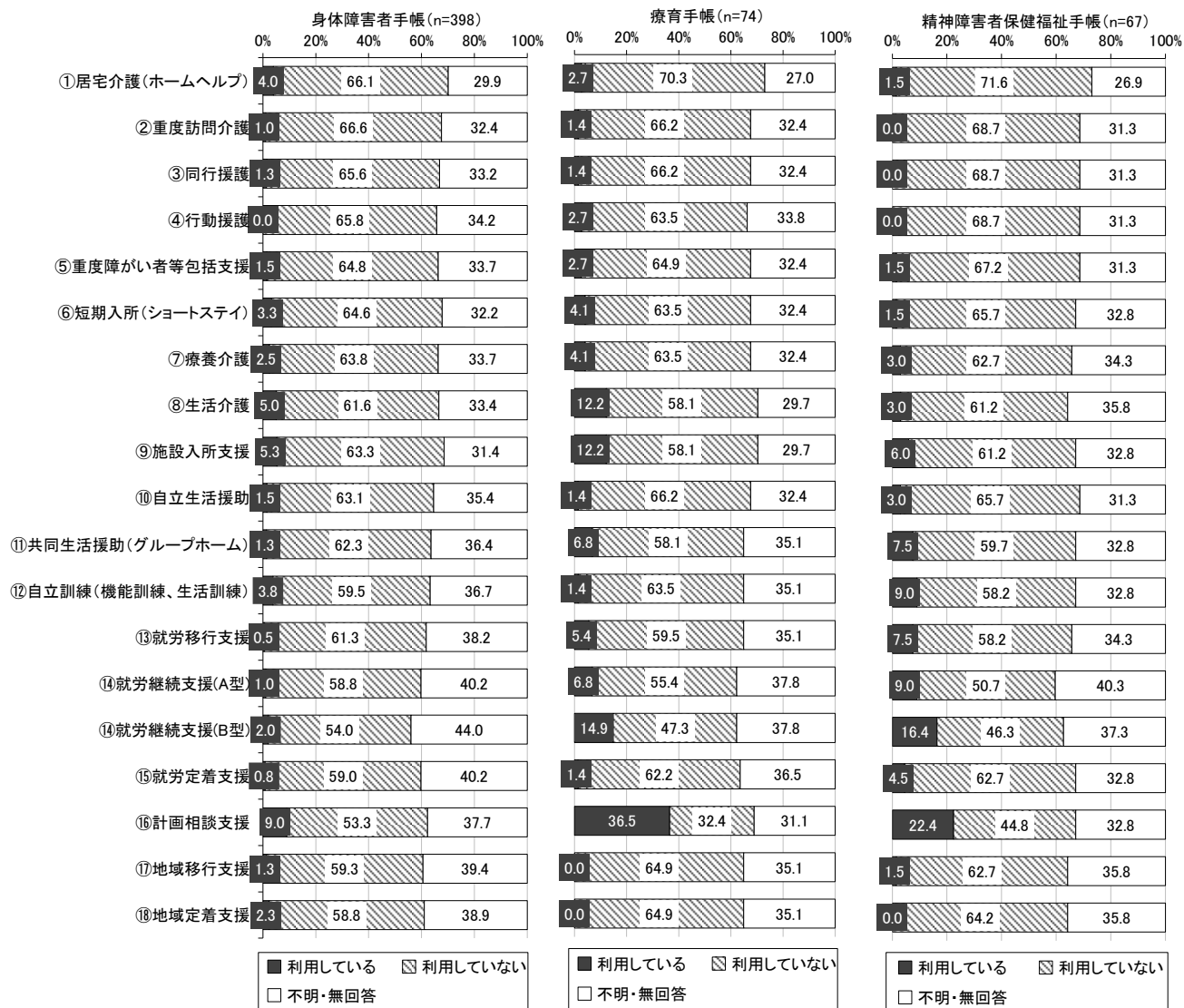
〈前回比較〉



※今回調査のみ：「⑩自立生活援助」「⑮就労定着支援」「⑯計画相談支援」「⑰地域移行支援」「⑱地域定着支援」

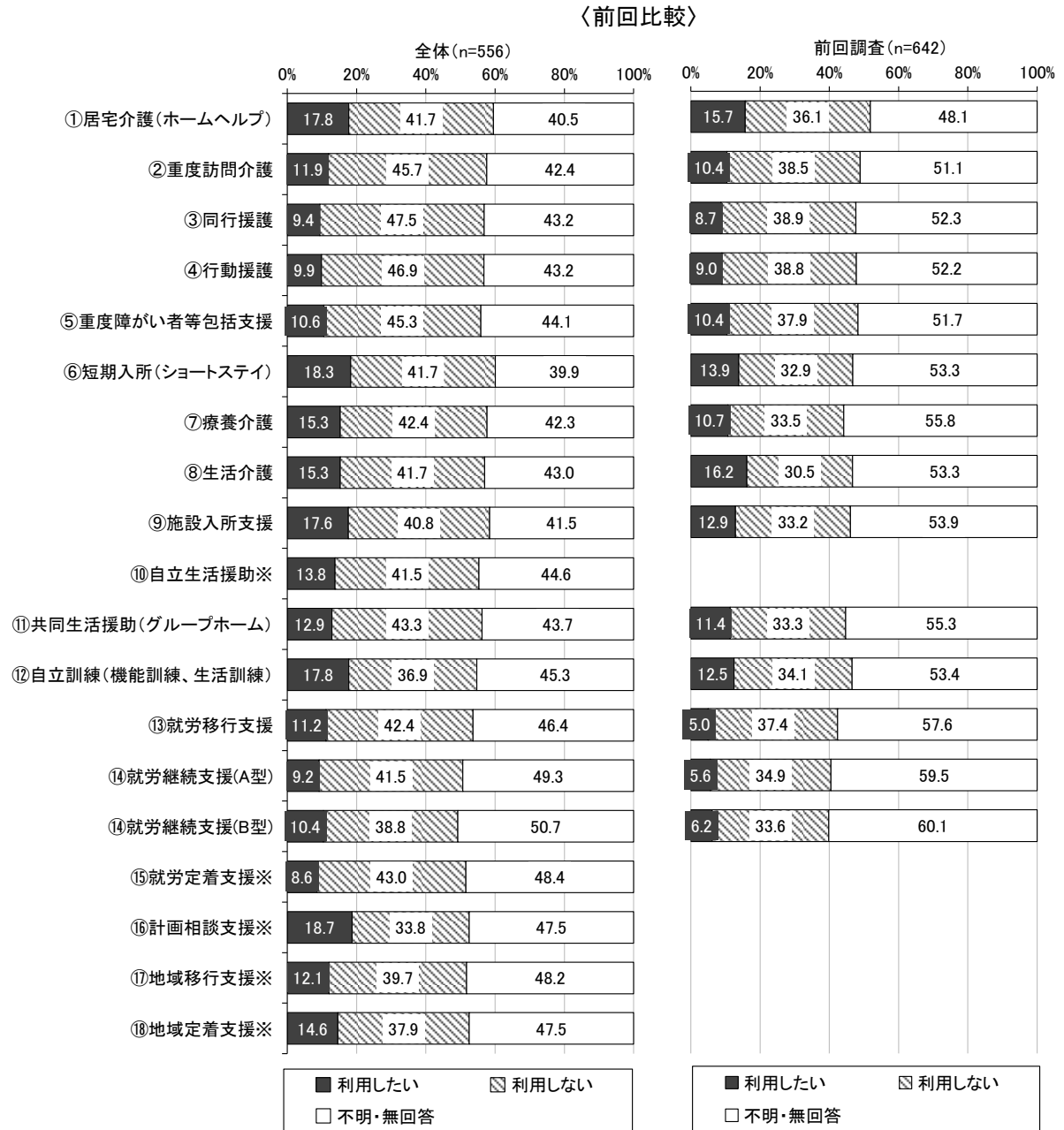
障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「⑩計画相談支援」の【利用している】が【利用していない】を上回っており、その他の種別ではすべての項目で【利用していない】が【利用している】を上回っています。

〈障がい種別〉



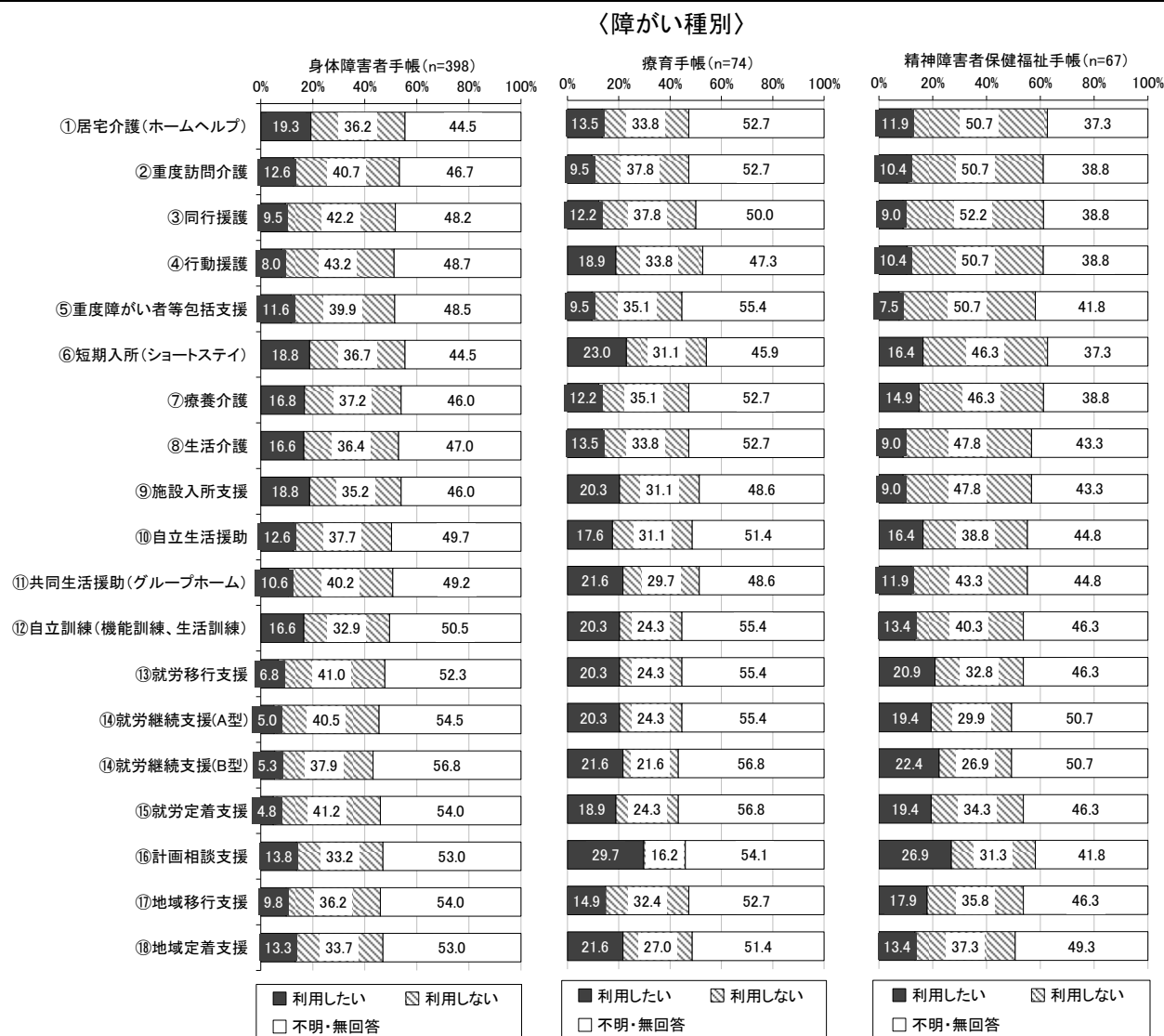
## 今後利用したいか

今後のサービス利用意向についてみると、すべての項目で【利用しない】が【利用したい】を上回っています。前回と比較すると、「⑫自立訓練(機能訓練、生活訓練)」で「利用したい」が5.3ポイント増加しています。



※今回調査のみ：「⑩自立生活援助」「⑮就労定着支援」「⑯計画相談支援」「⑰地域移行支援」「⑱地域定着支援」

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「⑩計画相談支援」の【利用したい】が【利用しない】を上回っており、「⑭就労継続支援(B型)」の【利用したい】と【利用しない】が同率、その他の種別ではすべての項目で【利用しない】が【利用したい】を上回っています。



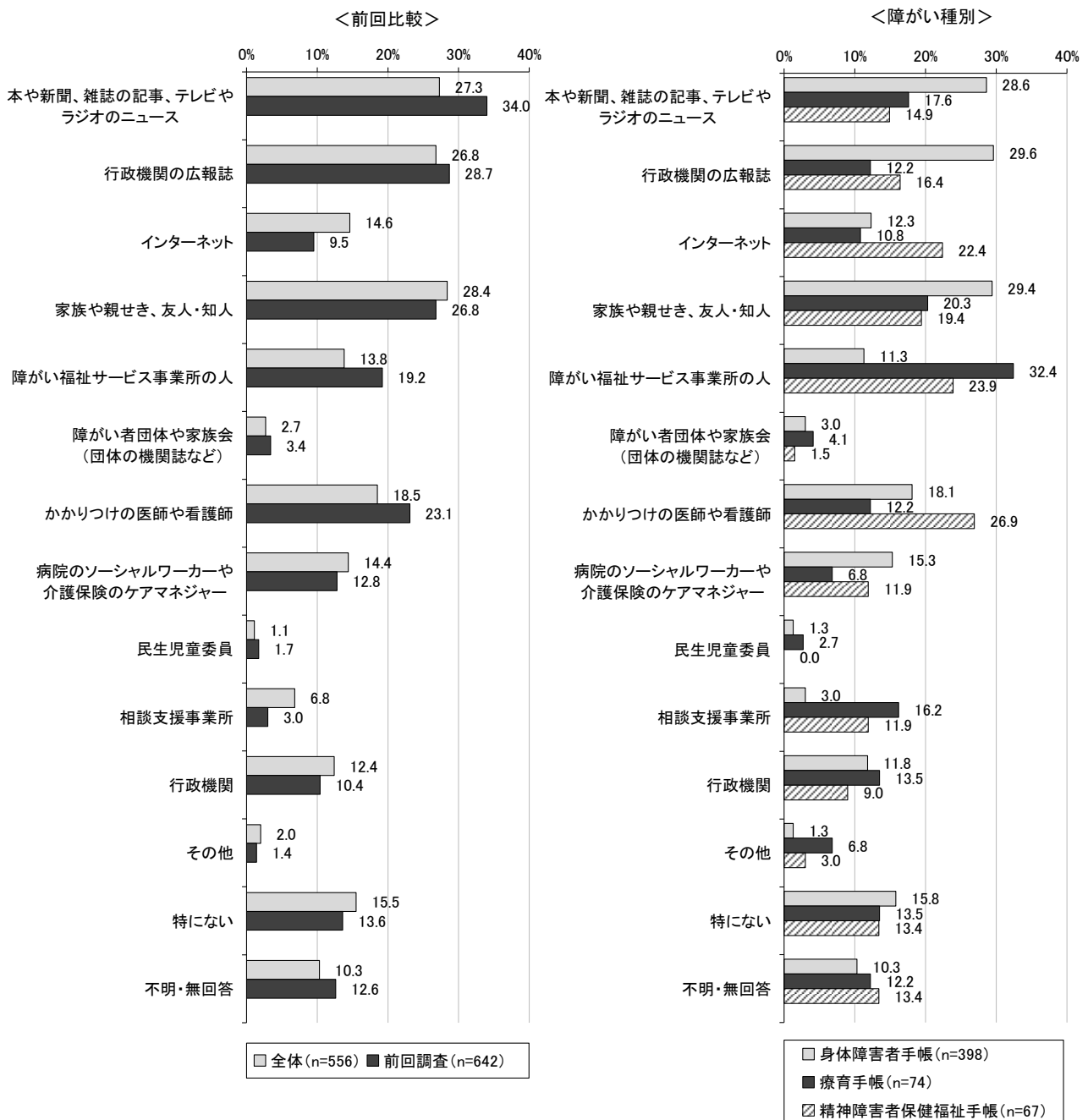
## 6 生活上の困りごとや相談相手について

問 30 あなたは障がいのことや障がい福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいのことや障がい福祉サービスなどに関する情報の入手先についてみると、「家族や親せき、友人・知人」が28.4%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が27.3%、「行政機関の広報誌」が26.8%となっています。

前回と比較すると、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が6.7ポイント減少しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「行政機関の広報誌」、〔療育手帳〕では「障がい福祉サービス事業所の人」、〔精神障害者保健福祉手帳〕では「かかりつけの医師や看護師」が最も高くなっています。



## 7 権利擁護について

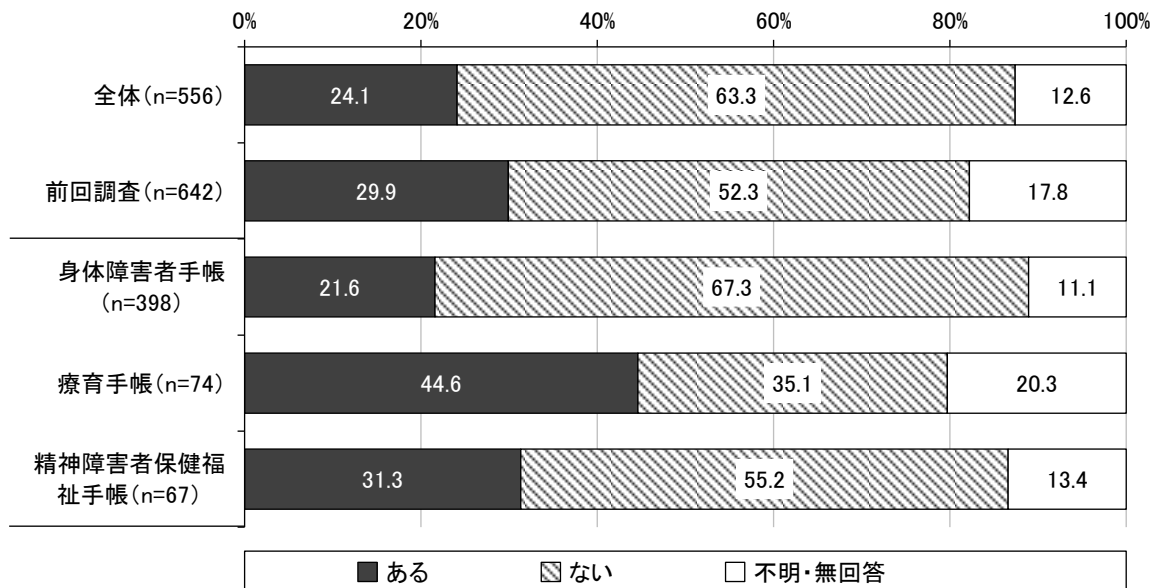
問 31 あなたは、障がいを理由に嫌な思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

障がいを理由に嫌な思いをしたことの有無についてみると、「ある」が 24.1%、「ない」が 63.3%となっています。

前回と比較すると、「ない」が 11.0 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「ある」、その他の種別では「ない」が上回っています。

年齢別にみると、〔10～39 歳〕では「ある」、その他の年齢では「ない」が上回っています。



〈年齢別〉

単位:%	ある	ない	無不明回答・
全体 (n=556)	24.1	63.3	12.6
0～9歳 (n=18)	38.9	50.0	11.1
10～19歳 (n=15)	60.0	26.7	13.3
20～29歳 (n=17)	64.7	29.4	5.9
30～39歳 (n=22)	45.5	40.9	13.6
40～49歳 (n=31)	32.3	51.6	16.1
50～59歳 (n=57)	36.8	54.4	8.8
60～69歳 (n=59)	30.5	50.8	18.6
70～79歳 (n=149)	16.8	75.8	7.4
80歳以上 (n=161)	11.8	74.5	13.7

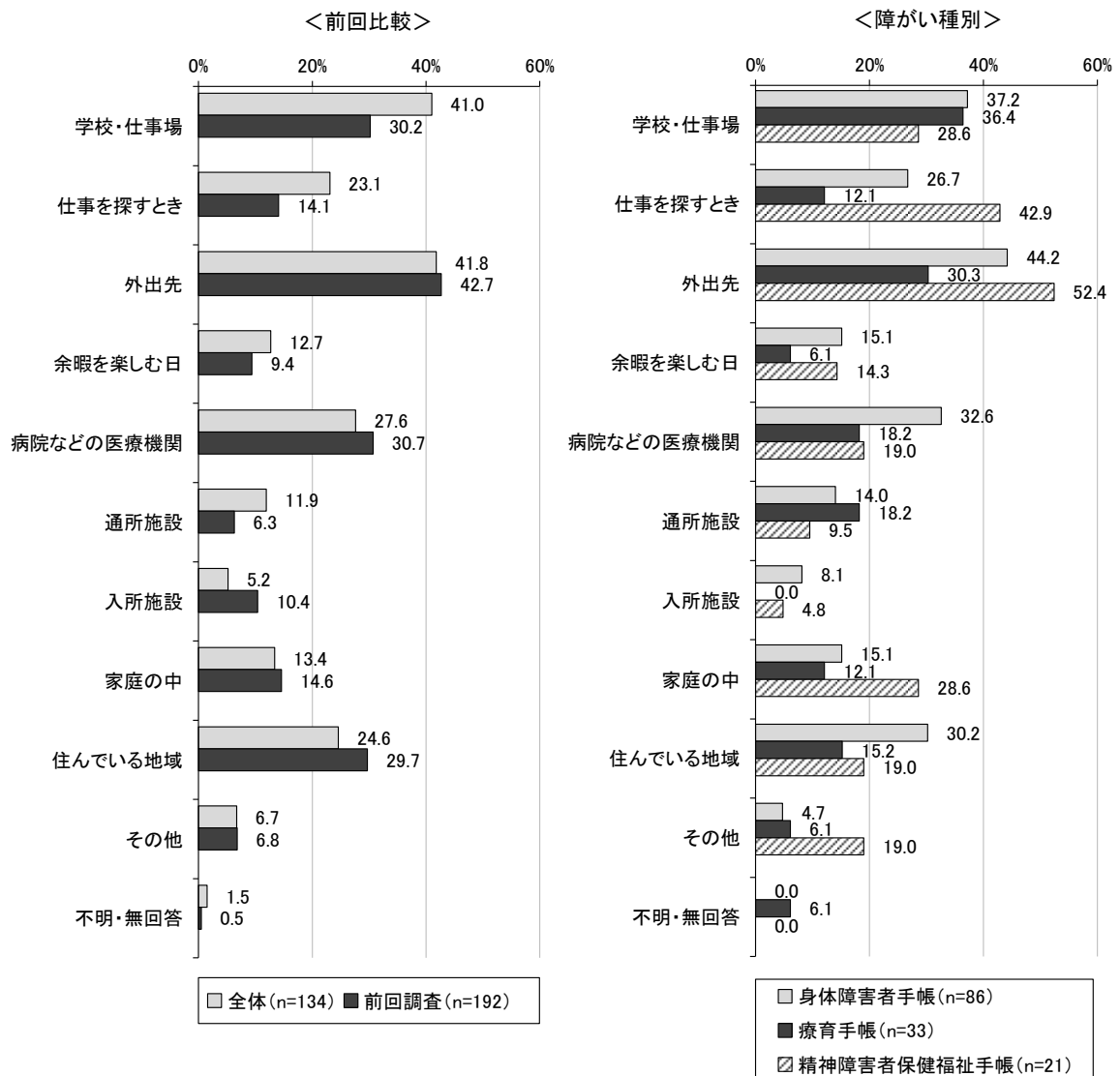
問 31 で「ある」を選択した方のみ

問 32 どのような場所で嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

嫌な思いをした場所についてみると、「外出先」が 41.8%と最も高く、次いで「学校・仕事場」が 41.0%、「病院などの医療機関」が 27.6%となっています。

前回と比較すると、「学校・仕事場」が 10.8 ポイント、「仕事を探すとき」が 9.0 ポイント増加しています。

障がい種別にみると、〔療育手帳〕では「学校・仕事場」、その他の種別では「外出先」が最も高くなっています。





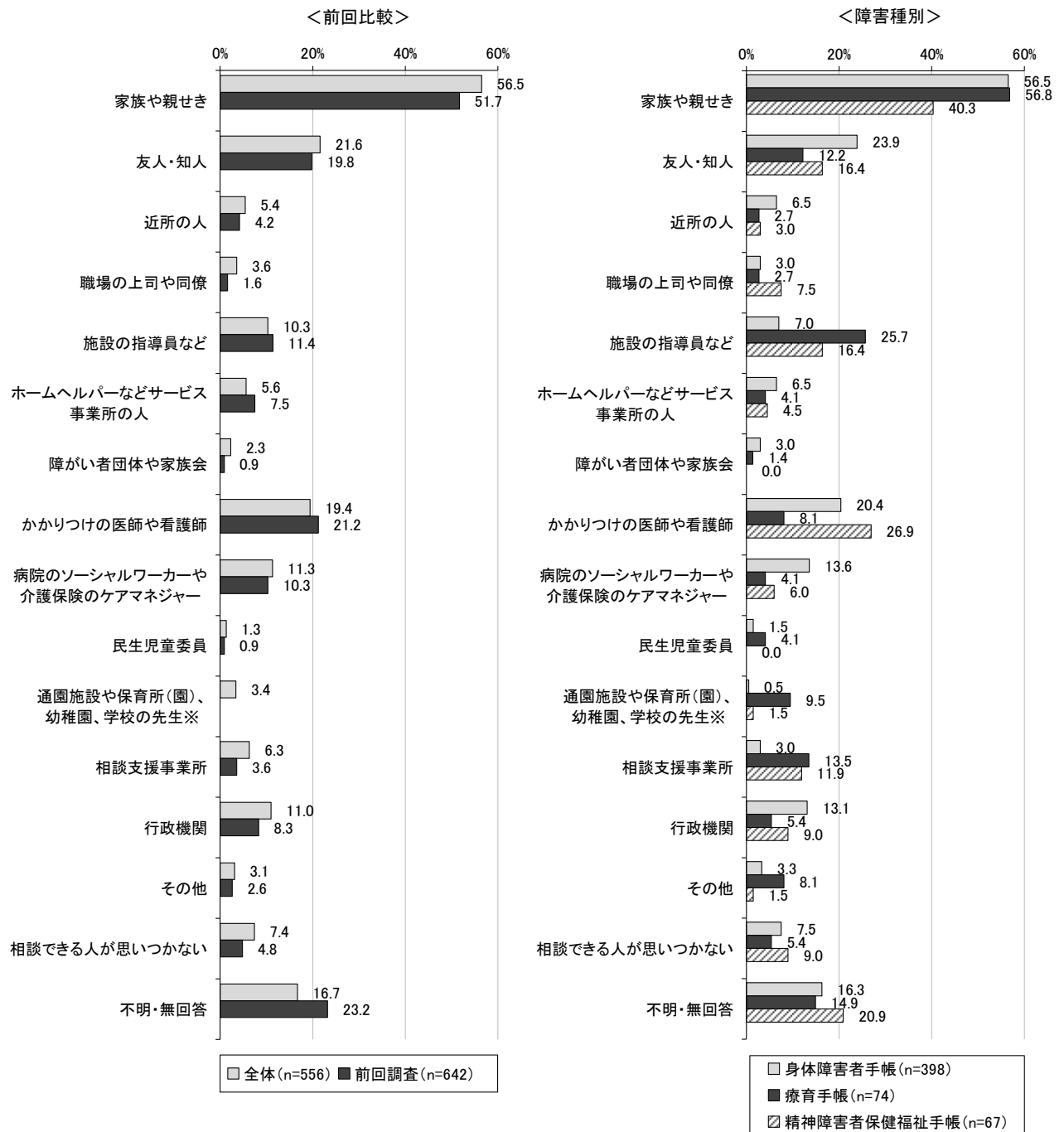
問 33 あなたは障がいを理由に困った時や嫌な思いをした時、誰（どこ）に相談しますか。

（あてはまるものすべてに○）

障がいを理由に困った時や嫌な思いをした時の相談先についてみると、「家族や親せき」が 56.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が 21.6%、「かかりつけの医師や看護師」が 19.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、すべての種別で「家族や親せき」が最も高くなっています。



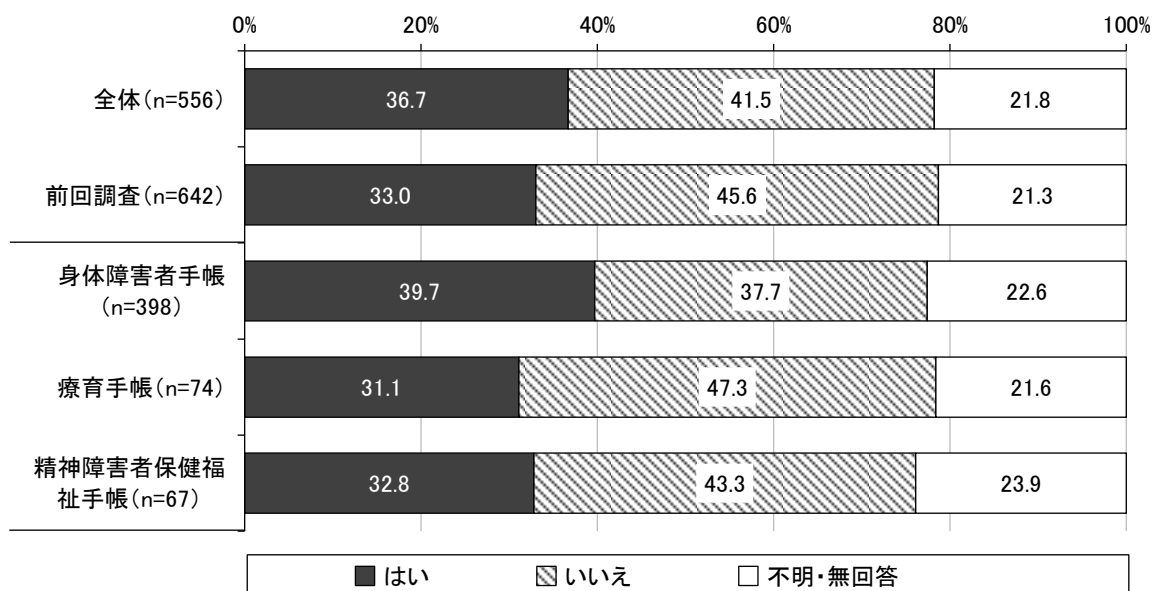
※今回調査のみ：「通園施設や保育所（園）、幼稚園、学校の先生」

問 34 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

成年後見制度についてみると、「はい」が 36.7%、「いいえ」が 41.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「はい」、その他の種別では「いいえ」が上回っています。



## 8 災害時の避難等について

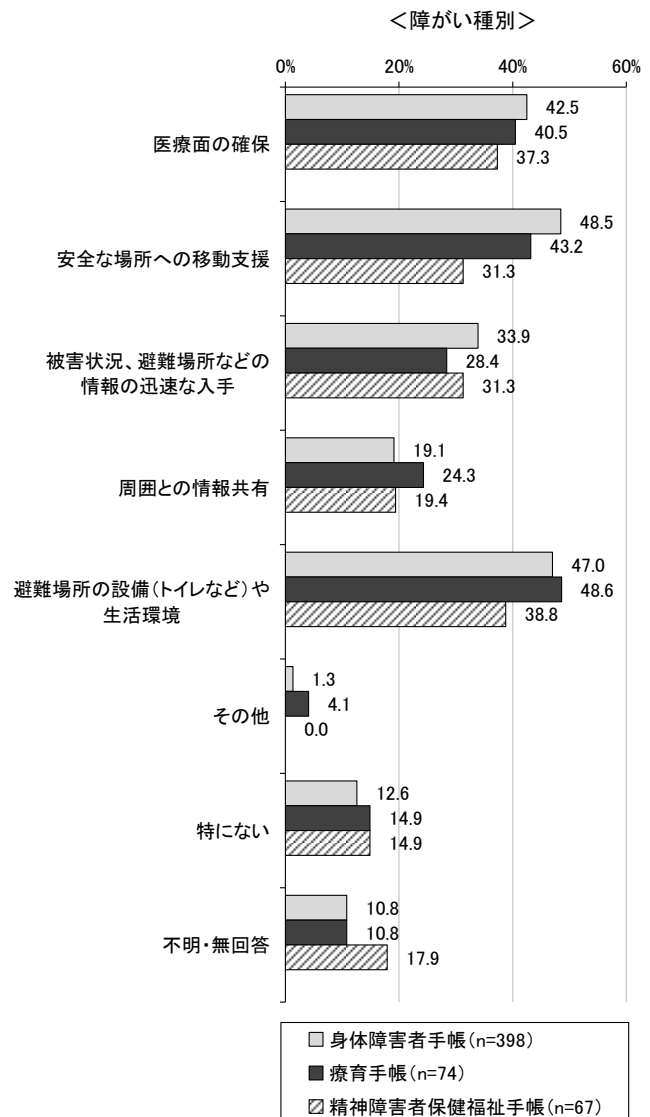
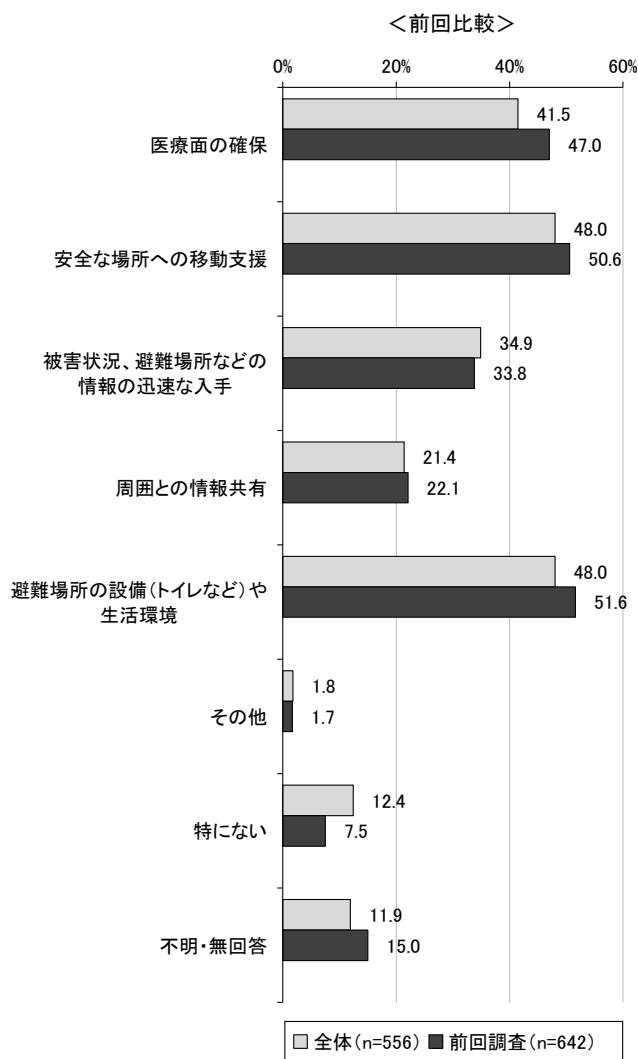
問 35 災害時に求めたい支援はどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に求めたい支援についてみると、「安全な場所への移動支援」「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境」がともに 48.0%と最も高く、次いで「医療面の確保」が 41.5%となっています。

前回と比較すると、「医療面の確保」が 5.5 ポイント減少しています。

障がい種別にみると、〔身体障害者手帳〕では「安全な場所への移動支援」、その他の種別では「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境」が最も高くなっています。

年齢別でみると、〔0～19 歳〕〔30～59 歳〕では「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境」、〔20～29 歳〕では「被害状況、避難場所などの情報の迅速な入手」、〔60～69 歳〕では「医療面の確保」、〔70 歳以上〕では「安全な場所への移動支援」が最も高くなっています。



〈年齢別〉

単位:%	医療面の確保	安全な場所への移動支援	被害状況、避難場所などの情報の迅速な入手	周囲との情報共有	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=556)	41.5	<b>48.0</b>	34.9	21.4	<b>48.0</b>	1.8	12.4	11.9
0～9歳 (n=18)	22.2	<b>61.1</b>	44.4	44.4	<b>72.2</b>	16.7	22.2	5.6
10～19歳 (n=15)	<b>46.7</b>	33.3	26.7	20.0	<b>66.7</b>	0.0	6.7	6.7
20～29歳 (n=17)	47.1	<b>52.9</b>	<b>58.8</b>	23.5	<b>52.9</b>	11.8	5.9	5.9
30～39歳 (n=22)	<b>50.0</b>	36.4	<b>50.0</b>	36.4	<b>59.1</b>	4.5	13.6	4.5
40～49歳 (n=31)	35.5	<b>41.9</b>	22.6	25.8	<b>45.2</b>	0.0	16.1	9.7
50～59歳 (n=57)	<b>54.4</b>	52.6	45.6	28.1	<b>57.9</b>	1.8	7.0	5.3
60～69歳 (n=59)	<b>44.1</b>	39.0	30.5	22.0	<b>42.4</b>	0.0	16.9	6.8
70～79歳 (n=149)	38.9	<b>47.7</b>	34.2	14.1	<b>47.0</b>	0.7	14.8	12.8
80歳以上 (n=161)	38.5	<b>50.9</b>	31.1	18.6	<b>42.9</b>	0.6	11.2	18.0

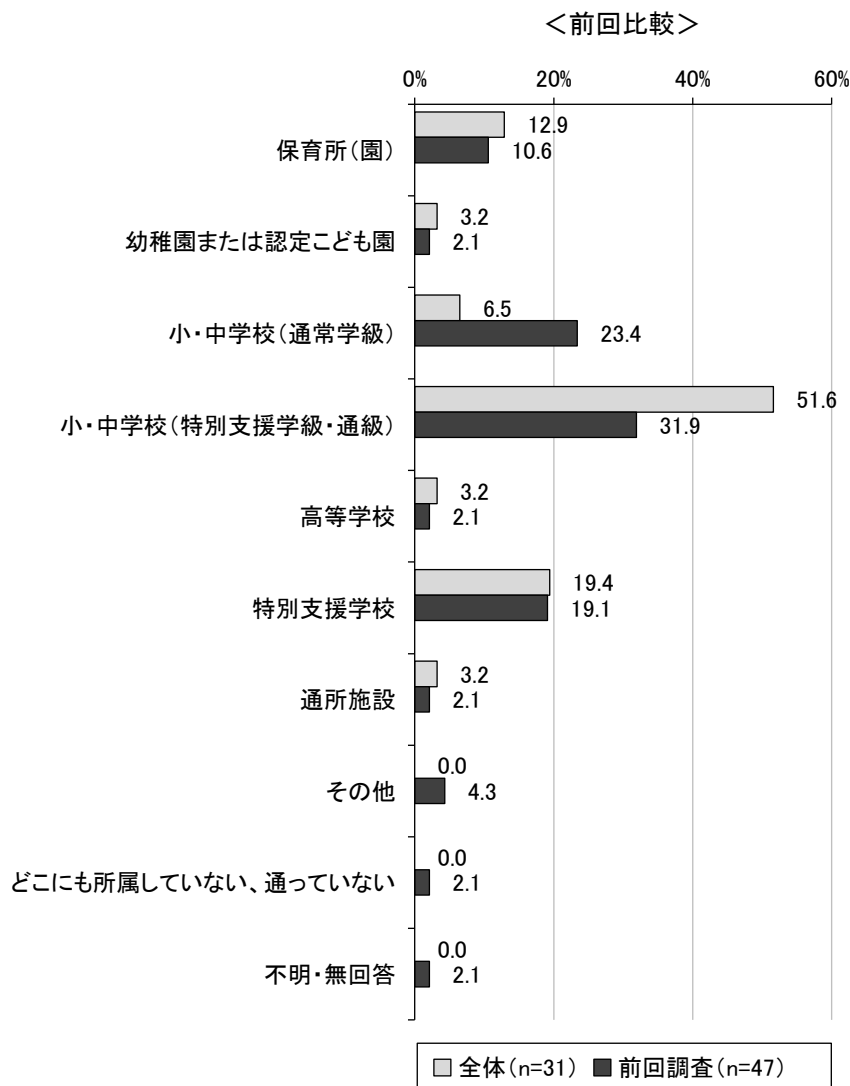
### Ⅲ 子どもの福祉に関するアンケート調査結果

#### Ⅰ お子さんのことについて

問 36 お子さんが現在主に所属している所、通っている所はどこですか。(○は1つだけ)

現在主に所属している所、通っている所についてみると、「小・中学校(特別支援学級・通級)」が 51.6%と最も高く、次いで「特別支援学校」が 19.4%、「保育所(園)」が 12.9%となっています。

前回と比較すると、「小・中学校(特別支援学級・通級)」が 19.7 ポイント増加しており、「小・中学校(通常学級)」が 16.9 ポイント減少しています。



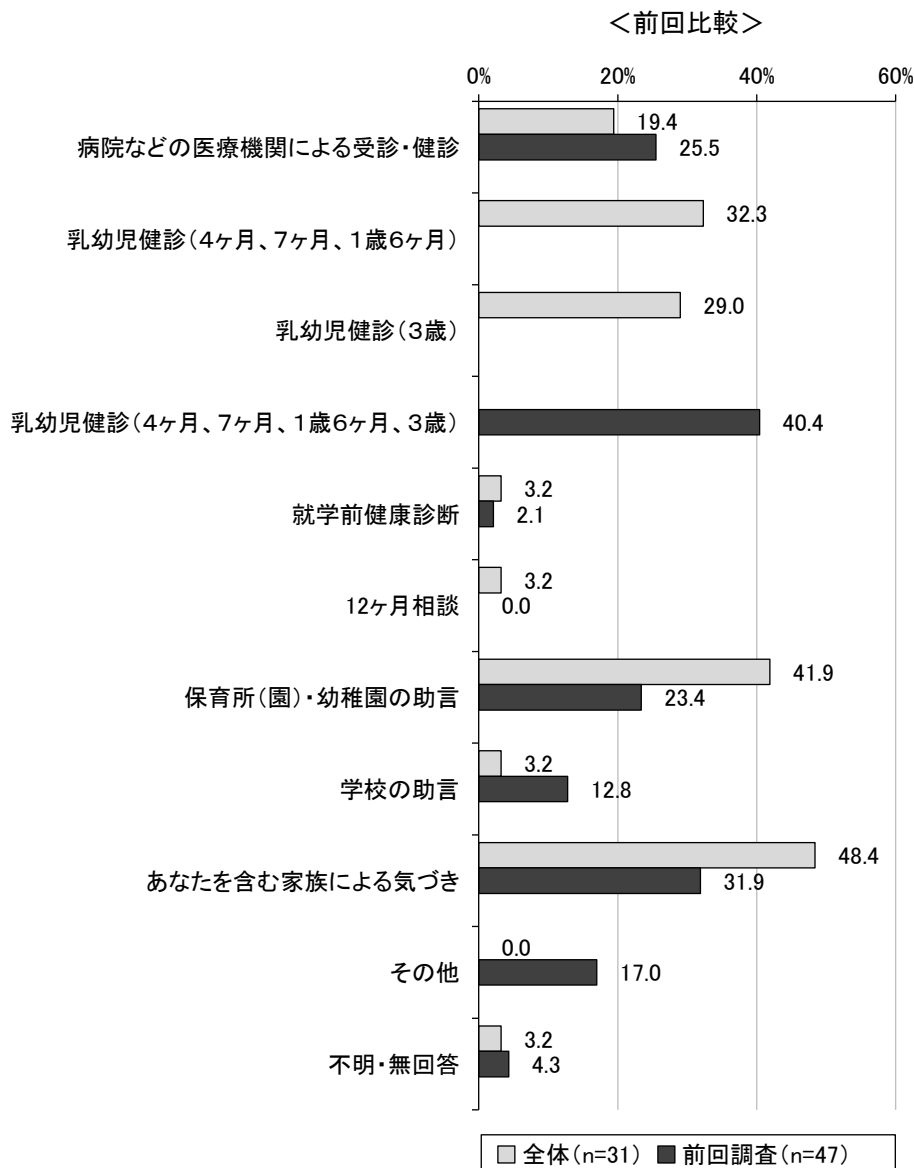
## 2 お子さんの発達などの気づきについて

問 37 お子さんの発達に支援が必要なことに気づいたきっかけは何でしたか。

(あてはまるものすべてに○)

支援が必要なことに気づいたきっかけについてみると、「あなたを含む家族による気づき」が 48.4%と最も高く、次いで「保育所(園)・幼稚園の助言」が 41.9%、「乳幼児健診(4ヶ月、7ヶ月、1歳6ヶ月)」が 32.3%となっています。

前回と比較すると、「保育所(園)・幼稚園の助言」が 18.5 ポイント、「あなたを含む家族による気づき」が 16.5 ポイント増加しています。



※今回調査のみ：「乳幼児健診(4ヶ月、7ヶ月、1歳6ヶ月)」「乳幼児健診(3歳)」

前回調査のみ：「乳幼児健診(4ヶ月、7ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)」

問 38 「気づき」について、よろしければご意見をご記入ください。

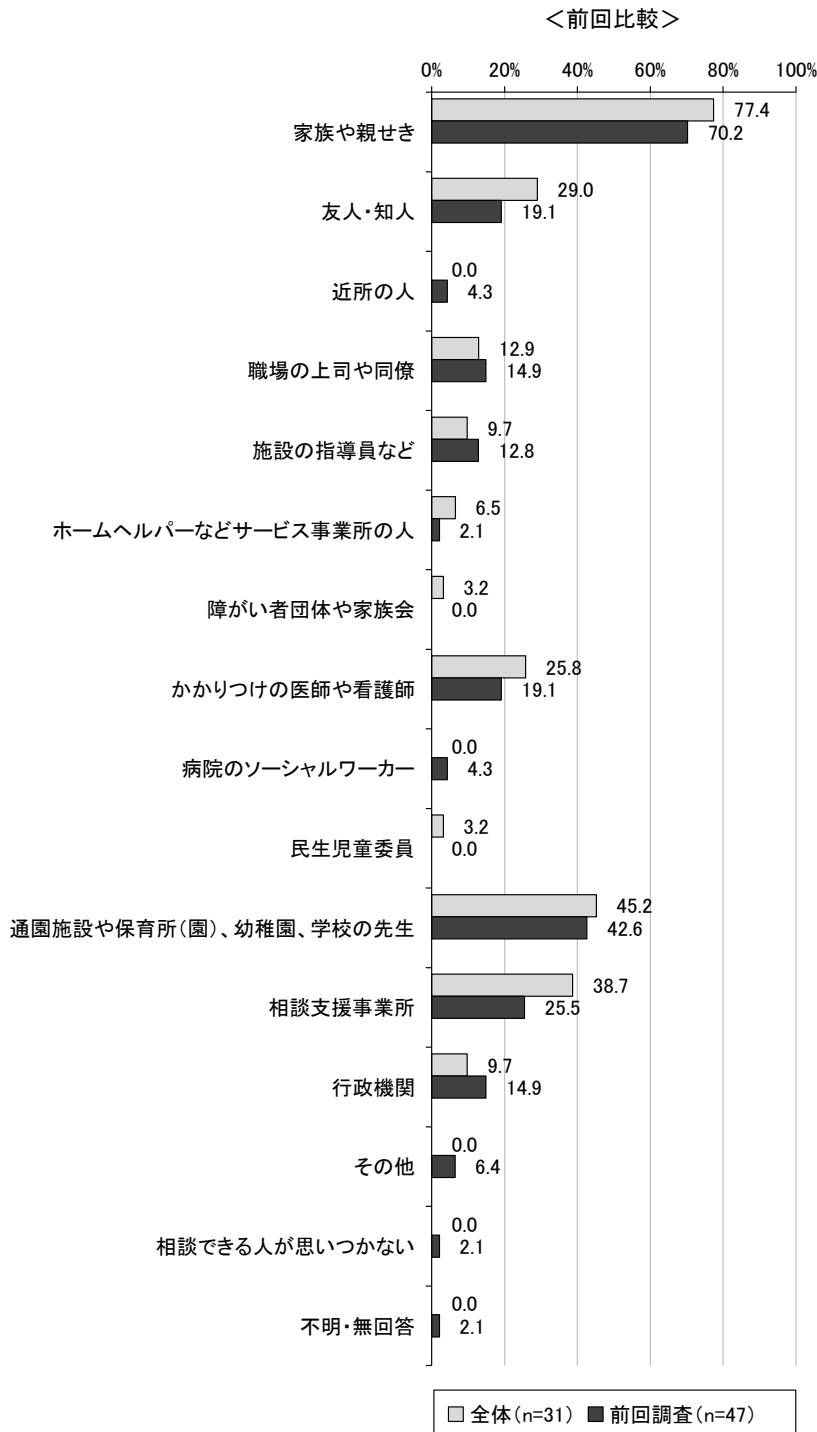
※自由記述項目

### 3 相談状況について

問 39 あなたがお子さんの発達の変化に気づいた時や困ったとき、主に誰に相談をしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

発達の変化に気づいた時や困ったときの相談先についてみると、「家族や親せき」が 77.4%と最も高く、次いで「通園施設や保育所(園)、幼稚園、学校の先生」が 45.2%、「相談支援事業所」が 38.7%となっています。

前回と比較すると、「相談支援事業所」が 13.2 ポイント、「友人・知人」が 9.9 ポイント増加しています。

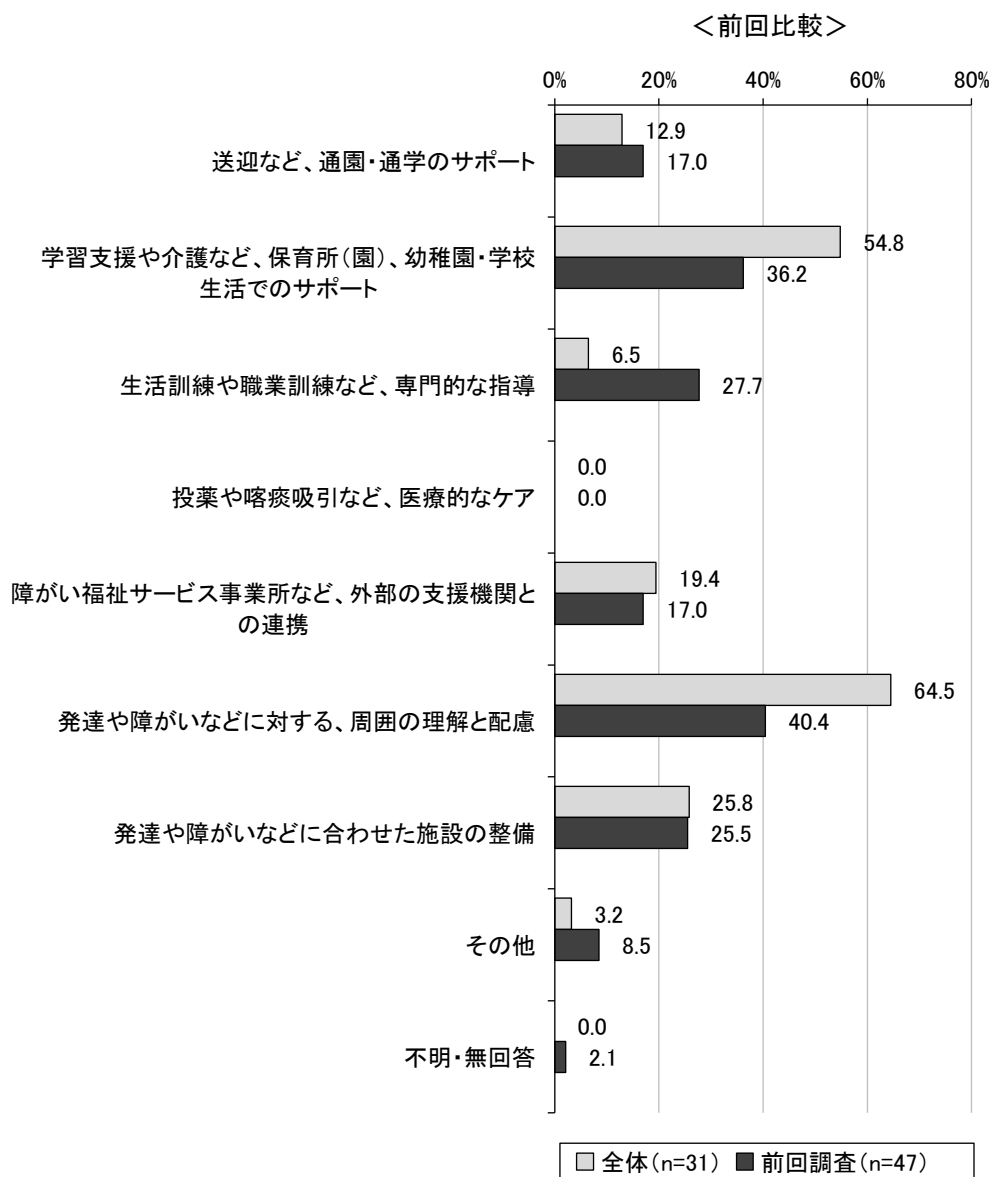


## 4 通園・通学などについて

問 40 お子さんが通っている（通っていた、これから通う）保育所（園）、幼稚園や学校に、あなたが主に求めることを教えてください。（〇は2つまで）

お子さんが通っている（通っていた、これから通う）保育所（園）、幼稚園や学校に、あなたが主に求めることについてみると、「発達や障がいなどに対する、周囲の理解と配慮」が64.5%と最も高く、次いで「学習支援や介護など、保育所（園）、幼稚園・学校生活でのサポート」が54.8%、「発達や障がいなどに合わせた施設の整備」が25.8%となっています。

前回と比較すると、「発達や障がいなどに対する、周囲の理解と配慮」が24.1ポイント、「学習支援や介護など、保育所（園）、幼稚園・学校生活でのサポート」が18.6ポイント増加しており、「生活訓練や職業訓練など、専門的な指導」が21.2ポイント減少しています。

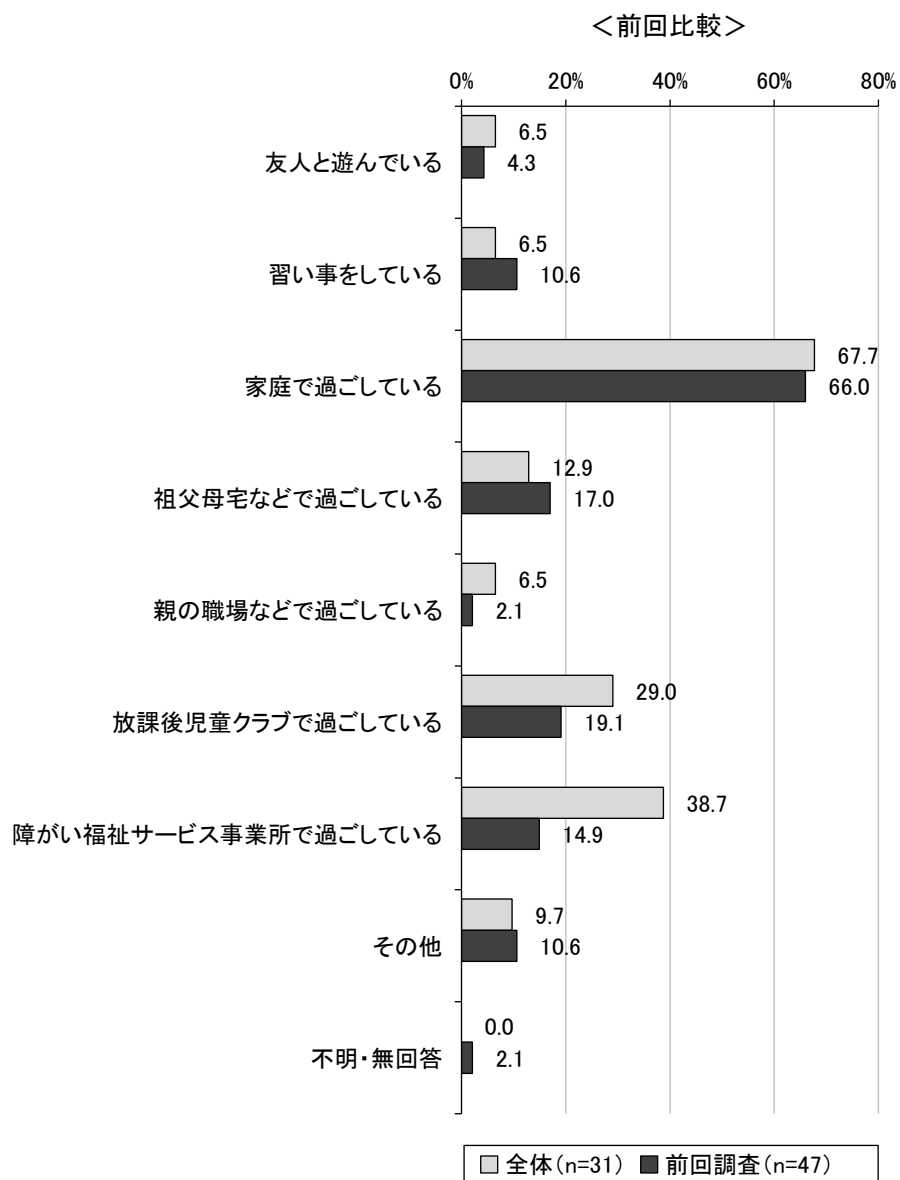




問 41 放課後や長期休暇には、お子さんは主にどのように過ごしていますか。(〇は2つまで)

放課後や長期休暇の過ごし方についてみると、「家庭で過ごしている」が 67.7%と最も高く、次いで「障がい福祉サービス事業所で過ごしている」が 38.7%、「放課後児童クラブで過ごしている」が 29.0%となっています。

前回と比較すると、「障がい福祉サービス事業所で過ごしている」が 23.8 ポイント、「放課後児童クラブで過ごしている」が 9.9 ポイント増加しています。



## 5 障がい福祉サービスの利用について

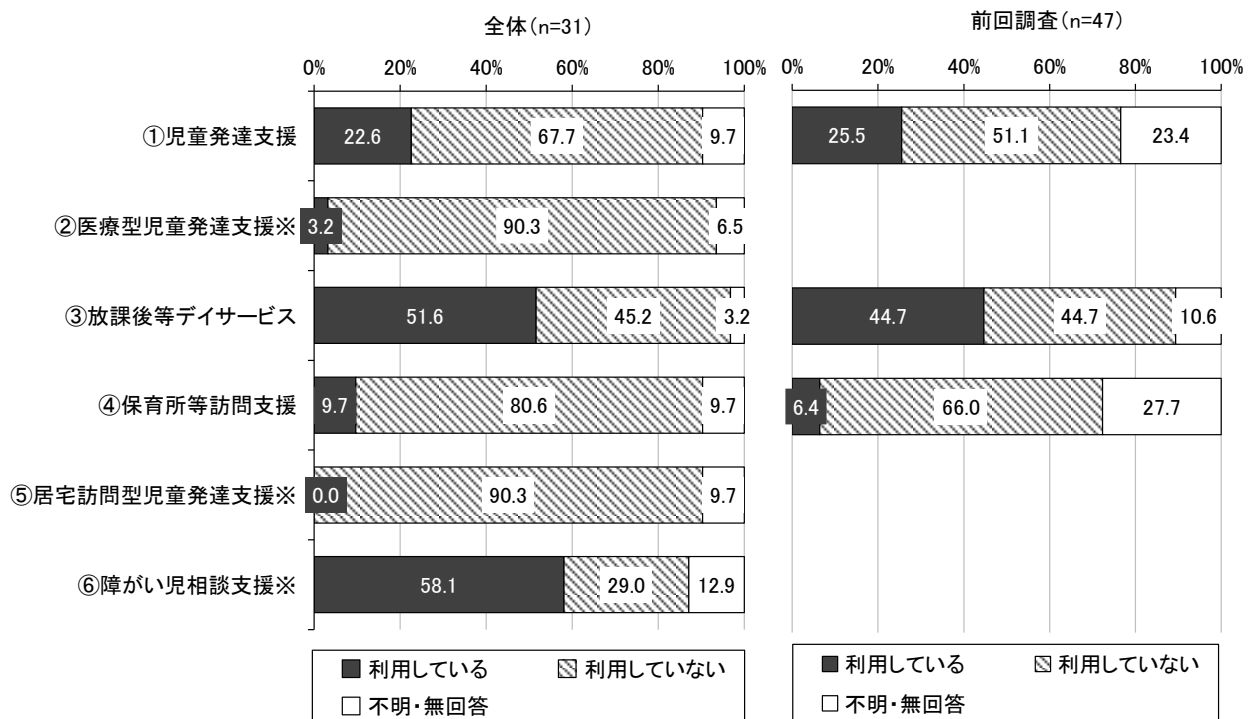
問 42 お子さんは、現在以下のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑥のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

現在利用しているか

現在のサービスの利用状況についてみると、【利用している】では「③放課後等デイサービス」が 51.6%、「⑥障がい児相談支援」が 58.1%と【利用していない】を上回っています。そのほかのすべての項目では【利用していない】が【利用している】を上回っています。

前回と比較すると、「③放課後等デイサービス」では【利用している】が 6.9 ポイント増加しています。

〈前回比較〉

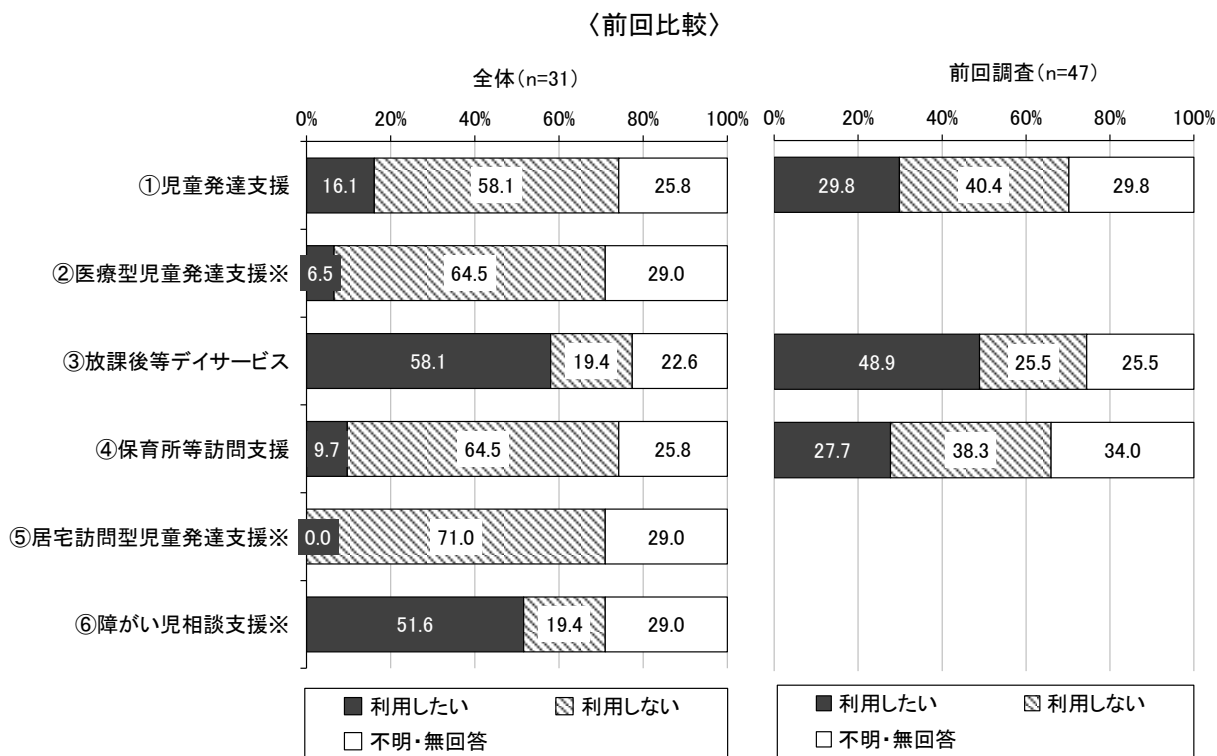


※今回調査のみ：「②医療型児童発達支援」「⑤居宅訪問型児童発達支援」「⑥障がい児相談支援」

## 今後利用したいか

今後のサービスの利用意向についてみると、【利用したい】では「③放課後等デイサービス」が 58.1%、「⑥障がい児相談支援」が51.6%と【利用しない】を上回っています。そのほかのすべての項目では【利用しない】が【利用したい】を上回っています。

前回と比較すると、「③放課後等デイサービス」では【利用したい】が 9.2 ポイント増加しています。【利用したい】では「①児童発達支援」が 13.7 ポイント、「④保育所等訪問支援」が 18.0 ポイントは減少しています。



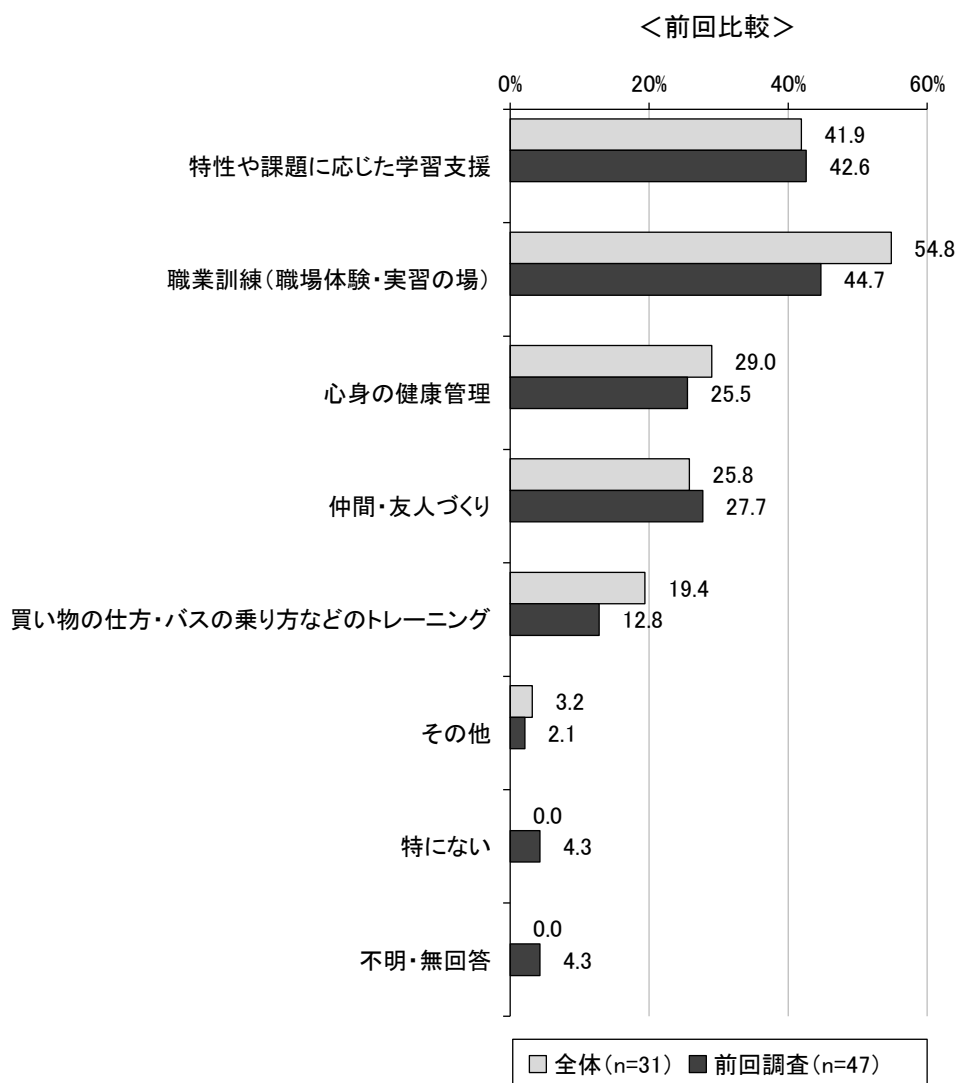
※今回調査のみ：「②医療型児童発達支援」「⑤居宅訪問型児童発達支援」「⑥障がい児相談支援」

## 6 地域生活・就労について

問 43 お子さんが学校を卒業後、主に必要だと思う支援を教えてください。(○は2つまで)

お子さんが学校を卒業後、主に必要だと思う支援についてみると、「職業訓練(職場体験・実習の場)」が54.8%と最も高く、次いで「特性や課題に応じた学習支援」が41.9%、「心身の健康管理」が29.0%となっています。

前回と比較すると、「職業訓練(職場体験・実習の場)」が10.1ポイント、「買い物の仕方・バスの乗り方などのトレーニング」が6.6ポイント増加しています。

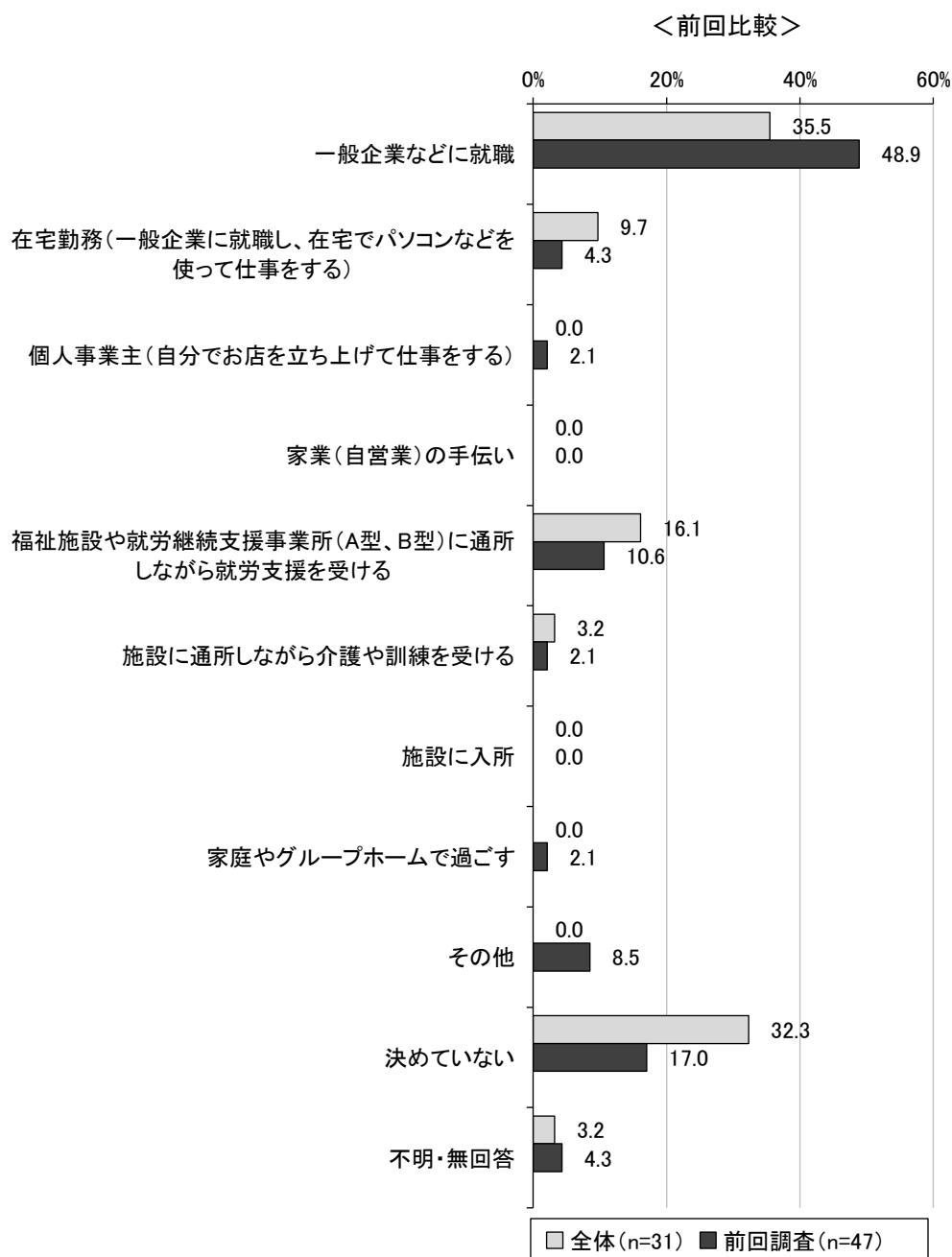


問 44 お子さんが学校を卒業した後、どのように過ごしてほしいかを教えてください。

(○は1つだけ)

お子さんが学校を卒業した後、どのように過ごしてほしいかについてみると、「一般企業などに就職」が35.5%と最も高く、次いで「決めていない」が32.3%、「福祉施設や就労継続支援事業所(A型、B型)に通所しながら就労支援を受ける」が16.1%となっています。

前回と比較すると、「決めていない」が15.3ポイント増加しており、「一般企業などに就職」が13.4ポイント減少しています。

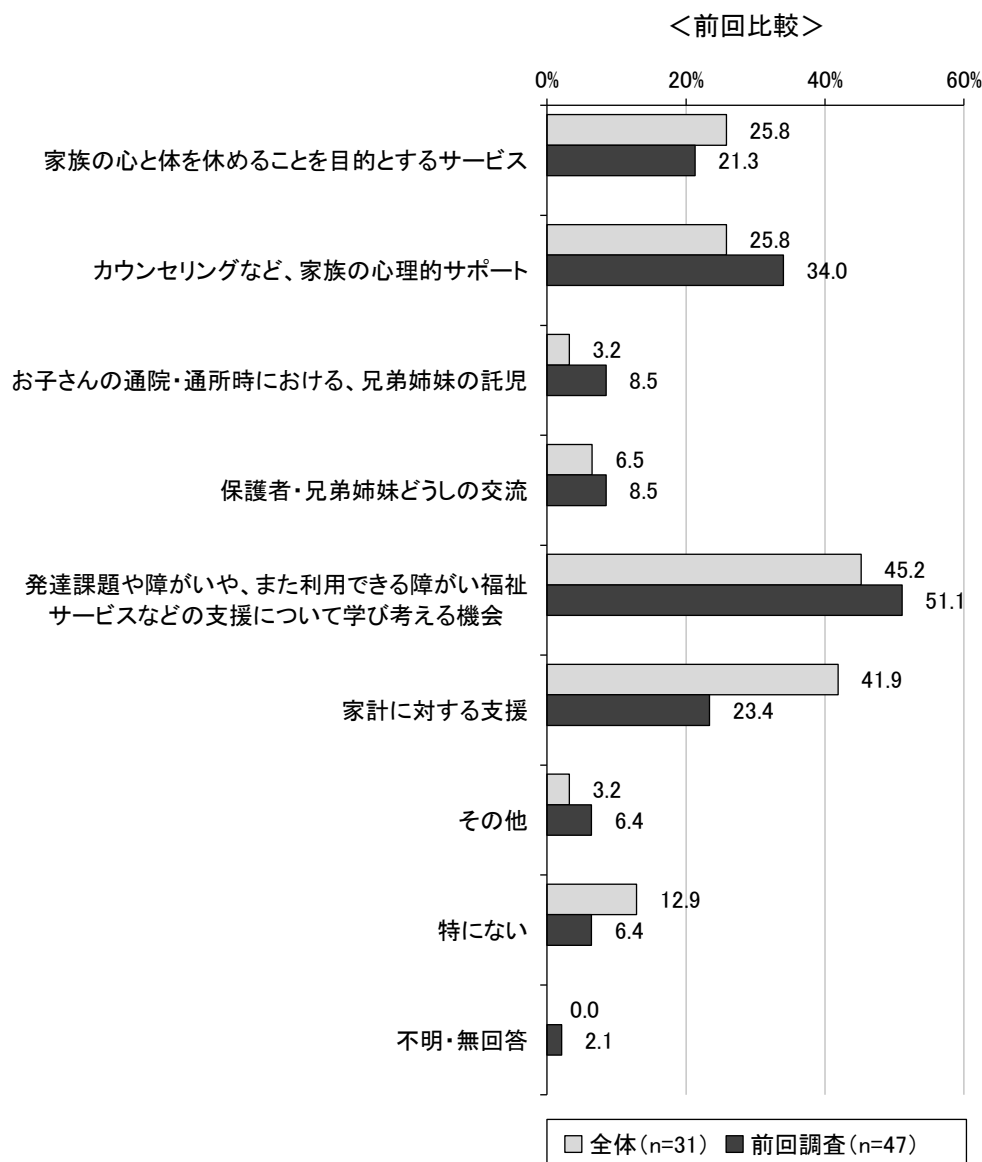


## 7 ご家族への支援について

問 45 あなたを含むご家族に、主にどのような支援が大切だと思いますか。(〇は2つまで)

家族に大切な支援についてみると、「発達課題や障がいや、また利用できる障がい福祉サービスなどの支援について学び考える機会」が 45.2%と最も高く、次いで「家計に対する支援」が 41.9%、「家族の心と体を休めることを目的とするサービス」「カウンセリングなど、家族の心理的サポート」がともに 25.8%となっています。

前回と比較すると、「家計に対する支援」が 18.5 ポイント増加しており、「カウンセリングなど、家族の心理的サポート」が 8.2 ポイント減少しています。

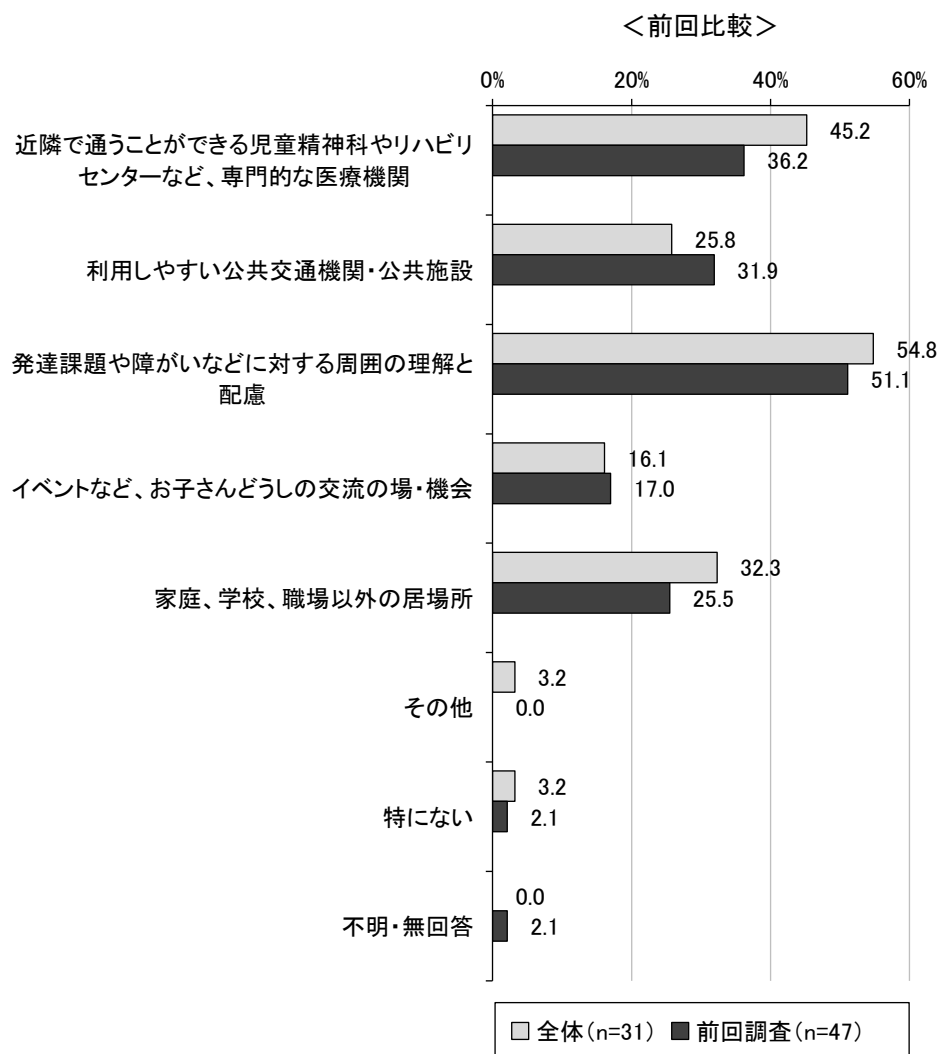


## 8 生活環境について

問 46 お子さんが過ごす環境で、主にどのようなものが大切だと思いますか。(〇は2つまで)

お子さんが過ごす環境で大切だと思うことについてみると、「発達課題や障がいなどに対する周囲の理解と配慮」が 54.8%と最も高く、次いで「近隣で通うことができる児童精神科やリハビリセンターなど、専門的な医療機関」が 45.2%、「庭、学校、職場以外の居場所」が 32.3%となっています。

前回と比較すると、「近隣で通うことができる児童精神科やリハビリセンターなど、専門的な医療機関」が 9.0 ポイント増加しています。



みやこ町  
福祉に関するアンケート調査  
結果報告書

発行:みやこ町 子育て・健康支援課障がい者支援係  
電話:0930-32-2725(内線 143,144)

発行年月:令和5年 11 月